處女の友

第二巻　第五號

大正八年六月廿八日印刷納本
大正八年七月一日發行（毎月一回一日發行）
大正七年十二月二十三日第三種郵便物認可

2巻5号

處女會中央部發行

Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

前内務大臣 水野錬太郎序
前文部大臣 岡田良平序
樞密顧問官 一木喜德郎序
前文部次官 田所美治序
宮内兼内閣 兼内務省囑託 國府種德序
内務省囑託 天野藤男著

賜天覽
賜台覽

青年團及處女會

四大特色
材料豐富
文章簡明
統計確實
識見卓越

菊版四五〇頁
箱入美本
定價二圓五十錢
送料十二錢

忽三版

青年團の研究者にして處女會の唱道者として識られたる著者が多年の苦心に成れる著述でありまして青年會處女會の歴史から組織經營の方法實例事業の種類優良團體事蹟など正確なる事實に就き掌に取る如く簡明に叙述してありますので青年會處女會の指導者には此上もない參考書であります。外國の青年會處女會の實例や青年團の新研究などは他の書物に見ることが出來ない文字であります。

東京市本郷元町二ノ六六
發行所 丙辰出版社
振替東京三三三〇〇番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

戰後の處女會

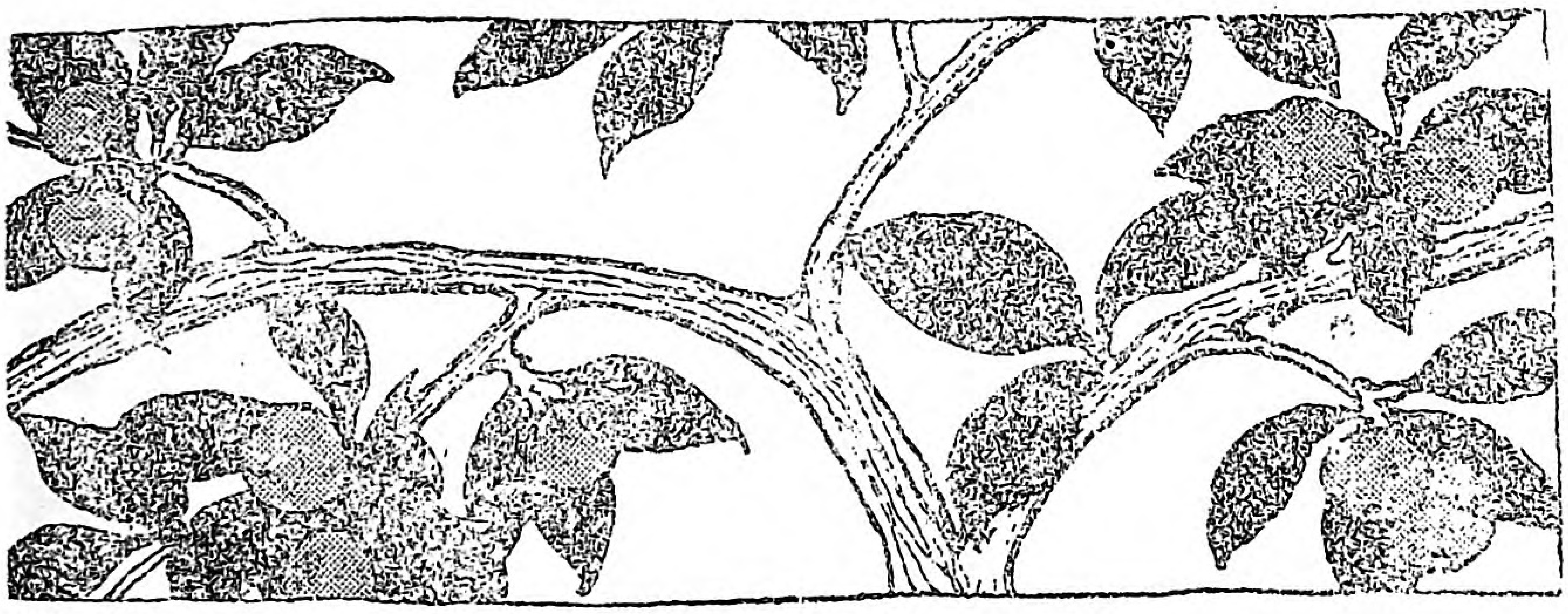
大正三年六月二十八日大元氣で劍をふりかざしてあばれ始めた獨逸は五年目の六月二十八日とう／＼へこたれてをとなしく降參してしまひました。青年會も處女會もよい時に、お祝ひを兼ねた總會なり大會なりを開き戰爭のてんまつを先生方から伺ひ尙これからの心得をよく相談し合ひなさい。てつぼうの戰爭がなくなつても世界に國があり地球に人が住んでゐる間は競爭があり勝ち敗けがあります。しつかりとしたまじめな人間の多い國はきつと勝ちます。

町では勞働問題がやかましくなり人の氣がなんとなくうわついて來ましたが、田舍はをちついてゐます、然し地主と小作人の問題もポツ／＼起りました。又皆さんの姉さん妹さん達である女工さん達の多くは、町の工場で骨身をけづられ、靑白い顏して後悔してゐます。工場とれんらくをして姉妹をお救ひなさい。お勵ましなさい、又是からも工女さんになる處女はよく／＼工場のことを調べ、念に念を入れてから工場へお入りなさい、ころばぬ先の杖です。とにかく處女會の仕事がふえて來ました。よい妻となり優しい母となり、しつかりとした女となつて下さい。是が理窟ぬきの戰爭後の支度です。

大正八年七月一日

處女會中央部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

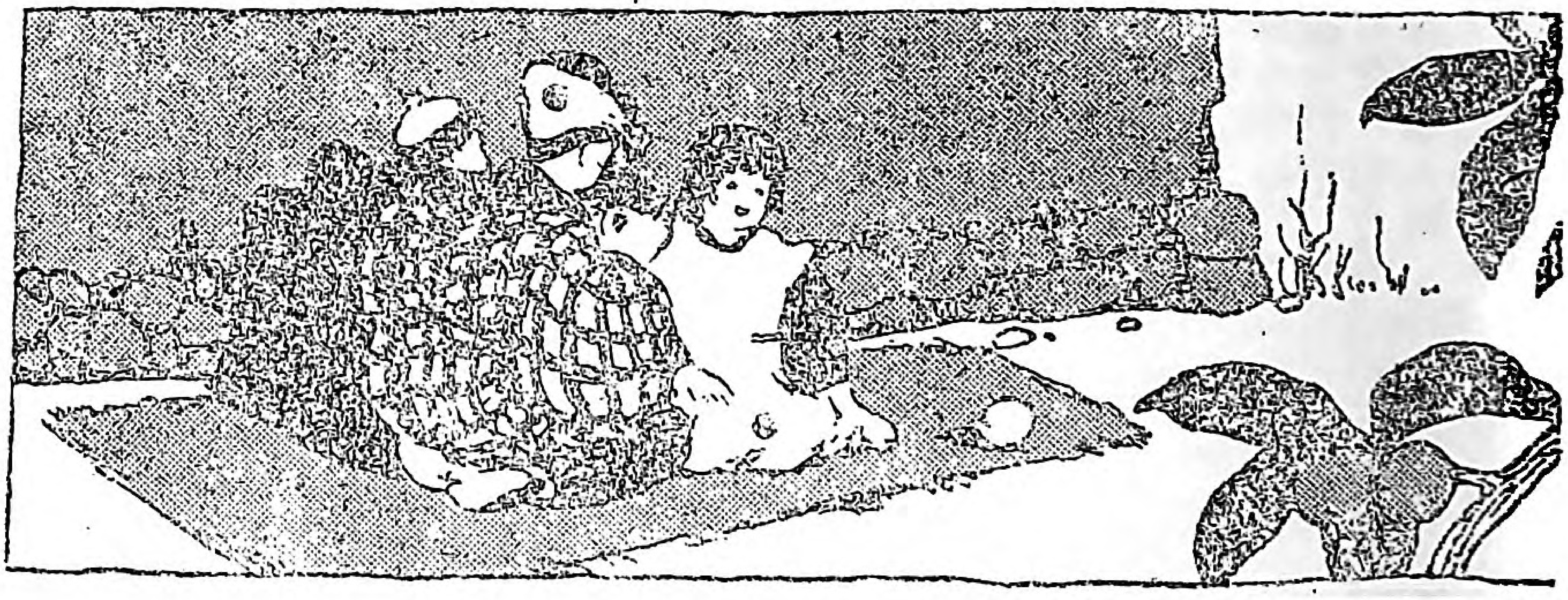


處女の友

七月號目次　第二巻第六號

□口繪
□地方處女會の活動 □巻頭
□よく働くが學問……
□記事
□皇后陛下の茶摘唄を聞召さる……二—三
□五月二十日は泣く子が欲しや……四—五
□何はなくとも親二人……山本瀧之助……六—七
□田舎の貴婦人……天野藤男……八—一〇
□お盆のいはれ……一一—一四
□榮養食物の話……一五—一七
□田植する女學校……一八—一九
□看病（文章と解釋）……二〇—二三
□あめりかの女學生訓……二三—二四
□家庭の重寶……二三—二四
□處女と記者……二五—二六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



□處女の家出 ……二七―二八
□茶つみ唄 ……二七―二八
□螢の旅行 ……二九
□七夕のいはれ ……三〇―三一
□お話のたね ……三〇―三一
□嫁と姑の和合のうた ……三二
□處女の方よりうれしい便り ……三三
ごはうびの一圓で（高橋さく子）畑から疲れて歸ると（關口かく子）
□美しい處女の心 ……山崎しも……三四―三五
□女だけのお話 ……三四―三五
□婦人美談（岩崎みわ子）……三六―三八
□全國優良處女會一覽（一）……三八―四〇
□地方婦人界便り ……四一―四三
□處女文藝（文章、和歌、俳句）……四四
□處女新聞 ……四五
□春から夏へ、少女から處女へ ……婦人記者……四六―四七
□手紙のかき方 ……四七―四八
□懸賞募集 ……四九
□考へ物 ……四九
□編輯だより ……五〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部設立趣旨

輓近地方青年及青年團敎養の機運漸く熟し、之が指導啓發の機關設備頓に整備せんとするは、地方開發國運伸暢の上に慶賀に堪へざる所なりと雖も、翻つて彼人等青年の姉妹ともいふべき地方婦人を省みるに、その修養の機關甚だ乏しく、識者亦深く此の問題に關心する所なきが如くなるは、我等の甚だ遺憾とする所なり。

抑々地方青年と地方處女とは、車の兩輪の如く、鳥の双翼の如く、地方經營の上に其の孰れをも偏重すべからず。如何に青年團體の活動に由て、地方青年の智識進歩し德性向上すとも、地方處女の修養自覺之に伴はざれば、地方の風紀完きを得ざるべく、延いて家庭改善の實を擧ぐることも至難なるべし。青年をして次の時代の善良なる公民たらしむることの必要なると同時に、處女をして其が好適なる配偶者たらしむることの必要も、亦言を俟たざる所なり。

殊に世運の日進するに伴ひ、或は農家の經濟に、或は副業の普及に、或は育兒に、割烹に、裁縫手藝に、禮法看護に、地方婦人の進歩向上に俟つべきもの頗る多く、彼等の責務使命月に日に重大を加へんとす。況んや歐洲の戰爭は、婦人の地位職能に一大革新を促し國家の運命も半ば婦人の實力の有無に由て決せられんとする實證を目前に示せるに於てをや。此の際、國家の根底をなせる地方町村の婦人を覺醒發奮せしめ、男子と相列んで個人的に國家的に修養努力せしむること、極めて〳〵切要なり。

近時、町村處女會の設立せらるゝもの漸く多きは、蓋し時勢の然らしむる所なるべく、歡喜に堪へざる次第なるが、然も之を、男子青年團體の發達普及に比すれば未だ日を同じうして語るべからず。此に於てか、我等は尚一層地方處女會の設置を促進し、地方處女の修養に資し、自覺を促さんが爲め、東京に處女會中央部を設立し、以て全國各地方處女會の相互連絡を圖り、其擁護啓導に努め、或は地方處女會に對する巡廻講演を開始し、或は處女會指導者の講習會を催し、或は地方婦人問題に關する世人の注意を喚起し、或は出京する地方處女の爲に職業紹介其他の方法により便宜を與へ、更に進んでは移民植民の計策を講じ、地方振興の根本に策應し、之を小にしては地方婦人の爲めに幸福なる前途を開拓し、之を大にしては國家根本の活力充實に貢献せんとす。

方今、都市の發達繁榮するに伴ひ、地方農村の荒廢著しく、妙齡の處女にして父祖傳來の農業を嫌忌し、都門の幻影に憧れて、目的もなく出京するもの頗る多く、延いて地方青年男子の愛郷心をも沮喪せんとする傾向あるは、少しく農村の實情を知るもの丶熟知し且憂ふる所なり。如何に男子青年團體が剛健素樸の氣風を養成するに自ら努むとも、彼人等青年の對象たる地方處女にして、虛榮の風に憧れ驕奢の態を喜ぶが如くんば、地方改良の目的を達すること至難なるべし。

斯る見地よりするも、處女會の設置は刻下の急務たること瞭乎たり。而して、之が設置を普及せしめ、之をして堅實なる針路に向はしむる爲めの處女會中央部設立は、一層刻下の急務なりと言はざるべからず。江湖諸賢、希くは、國家の根本的發達を期する趣旨に於て、我が處女會中央部の設立に賛成せられんことを。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方處女會の活動

三重縣一志郡　豐地村處女會

山梨縣東山梨郡　三豐村德加村處女會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方處女會の活動

愛媛縣伊豫郡　南山崎村唐川處女會

千葉縣印旛郡八生村處女會

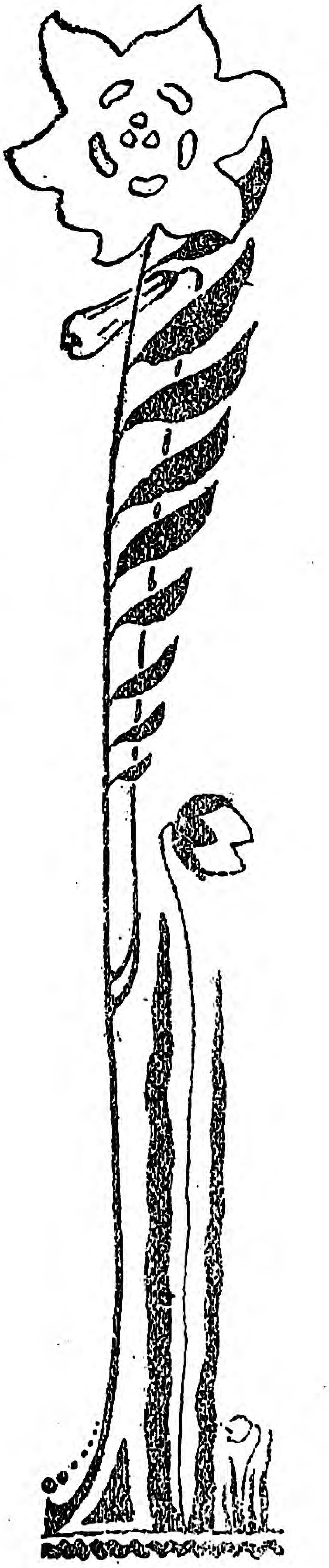
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女の友　七月一日發行

よく働くが學問

是は廣島縣の山縣郡の新庄村の新庄女學校生徒が農業の實習(籾すり)をしてゐるところであります、ハイカラな、ぜいたくな女學生の多い時に、こうした姉さん冠りのかいぐしい女學生の働きぶりをみますと何んとも言へなく頼もしくあります。女學校へ入るのも處女會へ入るのも、どちらも働くためであります、尚この學校のことは、本文の「田植する女學校」にくわしく出てゐます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



皇后陛下鄙の茶摘唄を聞召さる

畏くも　皇后陛下には去る五月十三日桃山御陵御參拜などのお爲にあまたの女官などをお伴ひあそばされ、京都に行啓あそばされ、廿四日御還啓あそばされましたことは皆様の御存知のことでございます。敎育及產業に御心を傾けさせ給ふ　陛下には御滯京中、學校工場などに行啓遊ばされ、三十日には宇治に成らせられ、田園の處女の茶摘唄を御機嫌うるわしく聞召し遊ばされましたと承ります。

當日は初夏の日影うるはしくまことに快よい日和でございました、午前八時京都の御所を御出門遊ばし、三十分京都驛より宇治へ成らせられましたが、途中木幡の停車場にて三分間御停車中御車の窓近く二三間の所にて土地のお茶摘み娘廣瀬なか外五十名の茶摘のさまを御覧せられました。茶摘女は紺の飛白にメリンス友染の帶、赤木綿のたすきに手甲脚袢をつけ、染め拔きの姐さん冠りの姿を致し、其時聞え上げました茶摘唄は

御代も治まる御物もつもる、なほる上様御繁昌

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

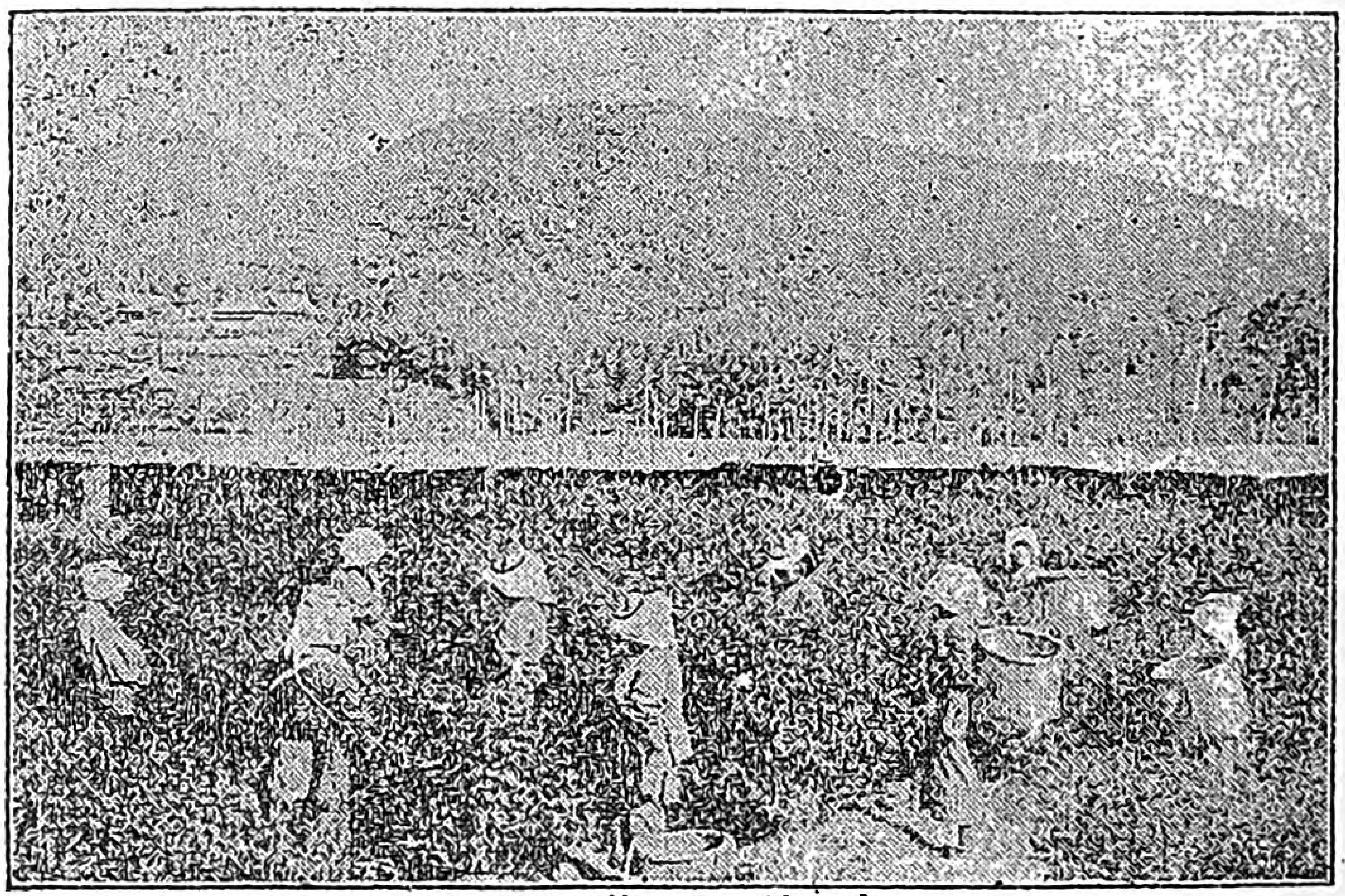
宇治はよいとこ北西晴れて、東山風そよ〳〵と

陛下には千種典侍と御汽車の窓に御立ち遊ばされ、御機嫌うるわしく御覧あつたと承ります。九時宇治驛に御着后は、黄檗山万福寺、宇治興聖寺に成らせられ、平等院にては源三位頼政の遺跡の前より玉歩を宇治川中洲の塔の島に運ばれ、此處にて又三十余名の茶摘娘の唄を聞召されました。

目出度〳〵の若松樣よ
枝も昌へる葉も茂る
さてもやさしや螢の虫は
忍ぶ暇で火をともす

陛下には御感興を以て唄の節々など聞召され、御下問さへあつたと拝聞致します。皇后陛下の宇治行啓は明治二十三年照憲皇太后陛下の御成以來三十年振のことゝて、宇治町民は非常に感激し奉つたとは、さもあるべきことです。

皇后陛下が御養蠶に御心をよせ給ふことは、皆樣と共に勿體なく感じて居りまするこ とでございますが、お茶摘娘を御覧せらるゝ御志は、是れ茶業に御心を寄せ給へる御思召と拝察せられ、陛下が田園婦人を愛撫し地方の産業に御心を傾けさせ給ふ聖慮の程こそ忝けなき極みでございます。お茶は山城、駿河が日本中での名産地で毎年二千三百萬圓程づゝ外國に輸出致します、田園の婦人の五本の指がもとでこれだけのお國の富が増すのです。只今二番茶三番茶で忙しいことゝ思ひます。折角御働きなさい。



宇治の茶つみ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

五月二十日は泣く子が欲しさや

□一番大事な田植

五月二十日は泣く子が欲しや
　あせに腰かけ乳呑ましよ

といふ歌がございます。皆樣も御存知でせうし、又現在お茶つみや、田植の時に歌つてゐらつしやることゝ思ひます。然し皆樣この唄の譯を御存知ですか。

　こゝの五月二十日は舊暦でいつたのですから、新暦にしますと丁度六月半から末に當ります。この頃農家では何をしますか、其はいふまでもなく、一番大事な田植であります。農家にとつてお米のよく出來るか、不作かといふことは、生命の次の大切なことであることは皆樣のよく御存知の通り。

　そこで是からこの唄のお話を致しませう。

□さあひと植ませう

　まじめに働いてよい農家に嫁いて夫婦仲睦しく、愛のかすがひともいふべき子供をもうける。是は女としての務めでもあり、誇でもあります。

　この新嫁さん――假りにお春さんとしませう――お春さんにはもう近く赤ちやんが生れます。五月の田植頃にはもう懐いて出られる、うれしいなといふ心を歌つたのです。是から次はお春さんの想像です。

　田にゆくともういとしい旦那も、弟も妹も惣出で田植唄うたひながら田植して居ります。お春さんは末の妹に赤坊を抱かせて『さあ私もひと植しませう』とお尻からげて水田に下り立ちました。

面白いぞや五月の田植
　みのや笠きて後しざり
今年や豊年穂に穂が咲いて
道の小草に米がなる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

涼しい田植唄があちこちから聞えます。燕はひら〳〵と腹を田にすりよせるようにして群をして飛んでゐます。

□田舎の主婦の誇

『姉さん赤坊が眼をさましたよ』

堤の上にしやがんで赤ん坊を抱いて居つた妹のお花は、大きな聲で呼びました。途端オギヤ々々と赤ン坊が泣き出しました。之を聞いたお春さん、早苗植ゑる手をとめて

『よしよ、今いくぞよ』

小川で泥手を洗つて『お〳〵めんめがさめたか泣くなよ』赤ン坊はお袋に懐かれたと思ふと、はやチユー〳〵と甘さうに乳房を吸ひ始めました。涼しい風がふいて來て植ゑつけたみどりの玉苗がなびきます。

あぜに腰かけ乳のましよといつたのはこのことであります。つまり始めから申しますと、今年の田植の頃には赤ン坊が抱けるうれしいこと、そして田植の頃にはつれてゆく、疲れて來るときはあぜに腰かけ可愛ゆいわが子に乳くませてやりたい、どんなに可愛ゆいでさう、早くさうなりたいといふことなのです。つまり田園の主婦の誇と意氣とを唄つてみせたのです。

□是が人生の極樂

皆樣、田植は苦しいものださうです、身體の氣分のわるい時などには、尚更つらいと申します。然し皆樣、廣々とした田に下り立つて、家族みんなしてお米の苗末を植ゑつける。田はお宅のもちもの、よく出來れば家中の喜び、丹精のしがひがあるし、かう考へると、何んで田植が辛いでせう。是ほど喜ばしく、樂しいものはない筈です。無事に植ゑつけて入相の鐘に送られて家に歸つて、夕顔棚の下で行水つかつて其から畑の新らしい茄子や胡瓜のお菜でおいしくごはんをたべる。是が理窟ぬきの人生の極樂であります。（おまの）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

何はなくとも親一人

文部省囑託　山本瀧之助

農村には娯樂が少い、ソコで青年や娘が都會に向つて走りたがる、何か適當の娯樂はないものか、これが農村問題中の其の一つになつてゐる、所が昔から農村の娯樂といつたなら、何といつても寄合つては飲んだり喰ふたり歌つたり踊つたりすることが先に立つ、踊つたりすることは近年頗る衰へて來たが、一年に一度のお正月とか、お祭とかいふものも、これも詮じ詰むればヤッパリ飲んだり喰つたりするのが多い、けれど年中これを奬勵するといふワケにも行かぬであらう、先づ普通に考へて見たなら、ヤッパリ都會に眞似て寄席を設けるとか、芝居小屋を作るとか、活動寫眞を見さすとかいふの類に過ぎぬであらうと思ふが、熟々考へて見るに、タトヒ帝國劇場ほどの定小屋が出來、又いつも呂昇や雲右衛門ほどの淨瑠璃や浪花節を聞かされても、しかもそれを毎夜無料で聞かされ見さゝれても、まだそれだけでは決して娯樂は足れりとせぬ。

口

何故かといふに、全體人間の娯樂に就ては、娯樂の機關であるとか、娯樂の方法であるとかいふことは實に全く枝葉の問題なので、それより以上に今少し根本的に大切なことがある筈といふのは外ではない、これに就て昔支那の孟子といふ賢いお方は、自分に大きな〳〵な娯樂がある、これは父母共に存すると卽、兩親ともに達者でゐられるといふことであるけれども、詰まり家内の睦しいといふこと今日の言葉でいつたなら家庭の平和がワシは何より一番樂しいと斯ういはれた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

のである、これは千人萬人寄つて集まつて動かさうとしても、決して動かぬ一大事實である、これまで農家の人達の多くは、芝居といつたら年に一度、それも見ぬ勝ち、浮れ節はイツやらのお祭にお宮で聞いた浪花節は一向聞いたことなしといふ位、それでもヤレ聞きたいの、見たいのといふ氣もなければ何の不平もなかつたもの、日が暮れゝばまだ泥のついてゐる足で夏でいへば涼臺、涼臺といふも名のみ、二三枚の板を裏口の椽からソコの柿の木の枝に結びつけたもの、その涼臺の上に褌一つで、大膝を組み丼を見たような大皿で機械製造の素麵をスヽれば、後からは息子の子、これは無論褌なしで大きな澁團扇で立ながらバッサ／＼と煽ぐ『晩酌や何はなくとも子の寢顔』子の方は亦た、元日や何はなくても親二人、斯ういふ風に一家平和であつて、麥飯と南瓜汁に醉ひ倒れて籔蚊の喰ふのも構はず、其まゝソコにグッスリ寢込んで鼾は早や雷のように聞える、此の雷のように聞える鼾にドコに、何の欲があらう、不平があらう、娯樂とは全體何んの事じやい、といはれる位のもの。

□

一家中がよく治つたならこれに越した娯樂はないが併しそれなら芝居も入らぬか浪花節も入らぬかといふに決してソウではない、ソウではないけれど、人間の眞の娯樂といふことを考へるならば、先づ以て第一には斯る根本的の邊に眼を留める事が大切なのである、ツマリは人間第一の娯樂を享けるには、先づ一家中を整へることが何をさし措いても肝要である、といふに歸結する皆さんもよく考へて下さい。

家事學校と膳先講話

午前九時盛岡着、すぐに縣廳へゆき、師範學校に參り午後六時漸く宿に就き申候承れば當縣にては昨年あたりより全縣下に亘り處女會勃興の色を呈し來り候同縣農會の主催にて農閑期中を七日間づゝ各町村處女會員に對し家事學校を施設致し居り候よし家事學校の名前面白くは候はずや科目は修身家事國語などが主にて成績頗るよき由今より食事例の通り女中さんに對し膳先講話を試み可申候(山本瀧之助氏より)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

田舎の貴婦人

天野藤男

一、貴い人と卑しい人

昔はいざ知らず、今の世の中では、職業に貴い賤しいの區別はありませぬ。眞面目に働いて、世の爲の人のために力相應につくしてゐる人は皆尊いのであります。人力車をひいて生活する人も尊ければ、下駄の齒入れをしてなりはひを營む人も尊いのです。

若し尊い賤しいをつけるならば、職業や身分でつけるのでなく、人格で高下をきめなければなりませぬ。行の正しい、正直な、まじめな、思ひやりのある人が尊い人で品性の卑しいお行儀の惡い怠けものが賤しい人なのです。

二、家柄身分に上下なし

昔は身分とか、家柄とかいふことを重んじました。あの人は學問が出來るが身分が卑しいとか、あの娘はよい娘だが家柄がよくないからお嫁に貰はないなど、いふことをよく申しました。然し今の世の中でこういふことをいふと笑はれます。今は身分も家柄もない、強いていふならば、是も人と同じように、一家仲むづましく暮らしてゐる家がよい家柄、よい身分なのです親ゆづりの財産を澤山もつてゐる人がよい身分、持たぬ家が卑しい身分、祖先傳來の寶物を澤山もつてゐる家がよい家柄、九尺二間の藁家が賤しい家柄といふよ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

うなことは毛頭ありません。
六千萬同胞皆　陛下の赤子です、千萬軒の家は皆國家の基ゐです。財產や位や、家の古い新らしいで、上下貴賤の區別は全くありません、是が當然なのです。

三、貴婦人とは何か

けれども永い間身分や家柄といふようなことに重きを措いて居りましたから、今でも、あの家は卑しいとか、あの人は出が卑しいとかよく言ふ人があります。皆樣は決してさういふ考を起してはなりませぬ。人のことをいふことはよくないことですが、自分達が人に言はれて、成程と思ふようなことは倘卑屈なことです。
さて皆樣よく貴婦人といふことをお聞きになるでせう。貴婦人の會合があつたとか、貴婦人何の某がどこそこへいつたとかいふて新聞雜誌はかき立てます。新聞雜誌の貴婦人は大抵何々伯爵の夫人とか、お金持の何某の奥さんとか、又は大臣の奥さんとか、博士の未亡人とかいふ人に限つて居ります。
是等の人の服裝や樣子をみますと、大抵金銀づくめの飾りつけをなし、縮緬羽二重の衣裳、ダイヤモンドの指環、歯も金歯、時計も金、そして立派にお化粧してゐらしやる。
そして出るには自働車、馬車、家に居つては召使にかしづかれ、三度の御飯は据へ膳で、重いもの持つとしては茶碗位なもの、やれ今日はお芝居、明日はお花見——といふような人が貴婦人に多いのです。
もつと解り易くいへば、お金持で、家の財產でゐぐひをなし、さもなければ、位のある立派の夫のおかげで華美にくらしてゐる人が貴婦人なのです。然し皆さん是がほんとうの貴婦人でせうか。

四、田舍の處女は貴婦人

全體ほんとうの貴婦人といふのは、學問が出來るとか、世の中の爲になることをしたとか、大勢の人を敎育してゐるとか、苦學して發明をしたとか、夫の死後血と汗とを以て遺兒を敎育して立派な人に仕上げたと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

かいふ人でなければなりません。それでなければ世の中の爲に尊い働きをしてゐる夫を十分に助け、子供の敎育を勵み、内助の功を完くする人でなければなりません。然し是は婦人として當り前のこと、別に貴婦人とあがめなくてもよろしい位です。

皆樣私のいふ貴婦人といふのは別にあります。私のいふ貴婦人は、お金持でなくても、金時計を持たずとも馬車に乘らぬでもよいのです。否お金持でなく、金時計がなく、馬車に乘つたことのない人に、ほんとうの貴婦人があります。

五、都會の天プラ貴婦人

昨日今日田舍は田植盛り、しと〳〵と五月雨がふつて都の人は、今日も雨かと顏をしかめます。こういふ雨の日に笠を冠つて泥田に腰まで埋め、田植してゐる田舍の婦人こそ私の尊敬する貴婦人です。

又昨日今日養蠶で忙しいでせう。桑の葉を摘んでお蠶を丹精し、お國の富を增す爲に一生懸命に働く娘さんも、尊敬すべき貴婦人なのです。農業ばかりでなく何業にせよ、まじめにして働く女は貴婦人なのです。

こうして一日働いても、すぐお金にはなりませぬ。御褒美も出ませぬ。けれど少しも不平も申さず、苦しみも訴へませぬ。家の爲親の爲といふ考へを忘れません。又收穫時が來てお金がとれましても澤山のお褒美をあてにもしませぬ。貧しい家では皆家に捧げてしまひます。芝居一つも見ず、美しい着物一枚も出來ない年もありませう、けれど不平顏しません。

私のいふ貴婦人はこういふ女です。心が美しい女、是が私の尊ぶ貴婦人なのです。金鎖をしたり、ダイヤの指環をしても、心が光つてゐませんと、其は天プラ金婦人となります。指環は尊いが女は尊くない、私は心の貴婦人を望みます。

皆樣はよしお家は狹くとも、よし顏は少々黑くともよし着物はお粗末でも、立派な貴婦人です。泥田に入つてゐることを卑しがつたり、鍬もつ姿をはづかしかつたりすることは自分を見さげるものです、意久地なしです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

お盆の祭のいはれ

○骨と皮ばかりの母

七月十三日から十六日までお盆祭が營まれます。お盆の祭はほんとうをいへば、盂蘭盆會といはねばならぬのですが、ふつうに只お盆といつてゐます。

お釋迦樣のお弟子に、目蓮といふ立派な和尚さんがありました、亡きお母樣の法會を營み、神通力で母のお顔をみまするど、骨と皮ばかりに痩せ衰へてなげいて居ります。目蓮和尚は驚いていそいでお茶碗にごはんを盛つて進せますと、母樣は喜んで手づかみにして食べようとせられます、するとごはんがとろ〳〵と火になつて燃え上りました。

○母の爲の法會

目蓮和尚は泣き悲んで、どうしたならば母のあの苦しみがお救ひ出來ませうかと先生のお釋迦樣に泣きすがりますと、こう仰言いました。

お前の母は生きてゐる中、よからぬ行があつたため地獄に陷つて苦しみを受けるのである。救はうとならば、あまたの僧を呼び、いろ〳〵の供物をさゝげて法會をするがよい、お前の母ばかりではない、ほかにもこうして苦んでゐる亡者が多いので、無緣の人をも救ひ慰められよ。

目蓮は喜んですぐさまあまたの僧を呼んで先づ母のた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

めに、次でに地獄に陷つてゐる他の人たちの爲に大法事を催うしました。是が盂蘭盆會、卽ちお盆のはじまりなのです。七月十五日にしましたのはこの頃は支那の梅雨時で大勢の和尙さんが雨ふりで行脚に出ることが出來ず、お寺に居るので、丁度都合がよいからなのださうです。(七月十五日といふのは、舊暦です、日本でもまだ舊暦の土地があります)

○一家の仲のよい所を

皆樣の母樣は御健かでゐらつしやる。たとひなくなつたとて極樂に安心してゐらつしやる。然し尙よく慰めてあげたい、其からお祖父さんお祖母さん、お先祖の魂をも慰めてあげたい、その爲にお盆の祭をするのです。つまりお盆は祖先を祭るの行事なのです。祖先を祭るからには、今生きてゐます父や母に孝行をはげまねばならぬことは申上げるまでもありません。兄妹仲よく、一家睦まじくすることも、いふまでもありません。

お盆の祭りにはどこのお家でも、仕事を休み、佛壇を淸め、お團子を供へ、御馳走を進せ、お經をあげるなどして、一家打ち揃ふてきげんよくくらします。

このありさまを祖先にごらんに入れることは、何よりの孝行なのです。どんなよい和尙さんをよんで、よいお經をよんで貰つても、一家の人が心が揃ふて居りませんならば、佛樣は御滿足なさらぬでせう。

日本で始めてお盆祭が行はれましたのは、聖武天皇の御代で丁度今から千二百年も前のことです。

○盆をどりのわけ

お盆の頃は稲が伸びさかる頃で、農事は一段落を告げます。盆祭は農家にとつて休養にも當ります。佛樣への孝行をしながら、稲の成長を喜び、ひと休みしようといふのです。

盆踊の行はれたのも此頃であります。盆踊ももとは目蓮和尙が大勢の僧侶と共に母を慰める爲に佛前で舞つたのが起りなのです。親孝行の踊です、念佛踊とい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ふてゐる地方さへあります。其が村の人が大勢で踊るようになりましたので、お寺の庭で踊つたり、お宮の境内に踊つたりするようになつたのです。

○ゆかしい盆をどりうた

夕方になると涼しい風がふいて來て、日暮らし蟬がかな〳〵と鳴きます村の人達は團扇片手にぶら〳〵と鎭守の森に集ります、折からさしのぼる十五夜の月。

その中ドン〳〵と太鼓が聞えます。お宮の立ち木から燈籠の光がチラチラ洩れます。村の若い衆は勇んで踊り場へ參ります囃子に交つて。——

——あれ〳〵盆踊唄が聞えます。

こなた百までわしや九十九まで
　共に白髮の生えるまで——
踊り踊らば品よく踊れ
　品のよいのを嫁にとる
　夫耕やす娘は稼ぐ
　妻は瀬戸へ出て米炊ぐ
山が焼けるが立たぬか雉子よ
　これが立たりよか子を置いて
梅は匂ひよ櫻は花よ
　人は心よふりいらぬ
揃ふた揃ふた踊り子が揃ふた
　稲の出穂より尚よく揃ふた

○お盆をよく考へよ

皆樣、私はこの盆祭を農村の改良、娯樂及敎育と結びつけて考へたいと思ひます。

あの迎へ火送り火は、害虫を驅除する誘蛾燈のつと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

めをするものであります。盆踊の時にたゝく太鼓や鉦も害虫や害獸を追ひのける爲です。鎭守の森の害虫が追い出され、はふ〳〵の體で里に遁げて來ますと、軒端でとぼ〳〵と火がもえてゐます。蚊は喜んで飛び込んで燒け死にします。

又お盆には柿、蜜柑、稻の穗、芋、栗などを佛樣に供へます。是は佛樣への農事品評會なのです。こうして家屋敷で作物がよく出來ましたお喜び下さいといふ心なのです。佛樣への展覽會なのです。

又茄子と胡瓜で牛と馬とをこしらへ、まこもで莫蓙をも編みます。是は手工なのです。子や孫が丈夫で兩手もよく利いてこんなに細工も出來ますといふことを祖先に報告するのです。盆踊は體育の奬勵と娯樂とを兼ねてゐます。

○お盆祭を盛んにして

こう考へますと、お盆の祭は大切なものであります之を無駄ごとのように思ひ、中止したり粗略にしたりすることは、大間違であります。よく働きよく遊ぶのが人のつとめなのです。近ごろ民力涵養といふて地方の力を增すことに努めて居りますが、その民力の涵養は田舍の人が心から樂しみ合ふようになることです、田舍の人が田舍の暮らしをたのしみ、滿足して、その土地に住むようになつて始めて地方の改良も自治の發達も出來るのです。

德川八代將軍吉宗公が盆祭についてお布を出しました。

儉約中と雖盆中三日中は燈籠を一ッ二ッかゝげ、花火も三本宛あげるべし、無益の費のようなれども、年中其の時々のこと致さゞる時は、人の心窮屈になること故右の通可致候。年中儉約致し候ことは其の時々のことを致すべきが爲也

皆樣たのしいお盆が近づきました。麥刈に田植に、忙しかつた身體を十分に休め、御馳走澤山あがつて元氣をおつけなさい。

勤勞の村に品よき踊かな
四五人に月をちかゝる踊かな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

榮養と食物の話

內務省衛生局編纂

さりながら、茲に一考せねばならぬ事は、人間を始め生物の體には、面白い働があつて、澤山營養物を取ると、矢張澤山其成分が壞はされ、之に反して取り込まれる榮養物の分量が減ると、體內で壞はされる分量も亦漸々減つて來て、入る所と、出る所とが、成るたけ平均しやうとする傾を示す者であります。恰も一家の經濟でも、收入が急に殖えると、自然贅澤に流れて、支出も矢張增加し、之に反して、收入が減ると、浪費を愼みて、支拂も亦減るのと同樣であります。

勿論非常に多量の養素を取れば、出る所よりも入る所が多くなつて、體成分は增加し、之に反して入る所が非常に少なくなると、終には出づる所を補ふことが出來なくなるのであるが、併し可なり廣い範圍內で、入る所が增減しても、出る所がよく之に伴ふて釣合を取つて行く者であります。

夫れですから、榮養を佳くし活氣を增したい爲に、牛肉や卵を矢鱈に多く取り込んだからと云つて、決して夫れで目的が達せられる者ではありません。斯る際には、一面消化吸收が不十分で、吸收されない殘の養素が多量に糞となつて捨てられると同時に、一面餘計吸收を受けても、亦餘計の成分が壞はされて、尿となつて外に出て來る者であります。隨つて斯る際には、無駄に高價な食物を潰して、糞便や尿を造る樣なもので、何等爲にならない、誠に以て勿體ない次第であります、加之、爲にならない計りならまだしも、榮養物が多く入り過ぎる結果、徒らに體の諸器官を累はし、爲に往々却て病氣になる場合があります。實に此位不經濟な話はないのであります。

斯樣な誤つた榮養法は、之を一人一家の經濟より云ふも、詰らない贅澤で、大なる損失たることは言ふ迄もないが、幾千萬人と云ふ多數の人口を有する一國の經濟より論ずれば、實に莫大なる浪費であつて、節約

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

して然るべき者をも節約しないと、終には食物は缺乏し、値は暴騰し、我れも人も困り果てる樣な始末に陷るのであります。取りわけ平時ならまだしも、一朝戰亂等が起つて物資の配給が思ふに任せぬ樣な場合には、一層痛切に之を感ぜざるを得ないのであつて、此度の大戰爭は適切に之を敎へて居ます。夫れかと云つて、又た無暗に食物を節約して、取らねばならぬ量でも取らない樣な無理をすると、國民の元氣は大に衰へて、起つことの出來ない有樣に陷ります。夫れですから、保健食料の研究をして、健康を損ふことなくして何れ丈の程度迄食物を節約し得るかを決めて置て、一朝事ある場合は勿論、平常も此の榮養學上の智識を賴りとして、安んじて食物經濟を行ふ樣にすることは一家は勿論、一國として非常に大切なことであります。

今西洋の信用ある學者が、保健食料の標準として認めて居る所の者を根據として、日本人に宛てはめて見ると、體重略十三四貫目の成年男子が、中等度の勞働をする際には大約

蛋白質	九〇瓦(二十四匁)
脂肪	二〇瓦(五匁半)
含水炭素	四五〇瓦(百廿匁)
總溫量	二四〇〇カロリー
利用溫量	二一六〇カロリー
	(總熱量の約一割引)

と見て大差ないのであります。

成年男子に較べると、婦人や、子供は、食料が少なくて濟む者で、妻及び十四—十七歲の男子は、夫の食料の八割、同年齡の女兒は七割、一〇—一三歲の兒は六割、六—九歲の兒は五割、二—五歲の兒は四割と見ればよいのであります。

一寸說明を加へますが、前の表に總溫量として擧げてあるのは、表に示せる分量の養素が、體內で燃える際現はし得る勢力の總量を、溫として測つた者であります。溫量を測る單位としては、「カロリー」を用ゐます。一「カロリー」とは、一「リートル」(約五合五勺)の水を、攝氏の一度だけ高むるに要する溫量であつて、蛋白質も含水炭素も、共に其の一瓦(二分六厘)は四・一「カロリー」の溫量を、脂肪の一瓦は九・三「カロリー」の溫量を發生し得る者であります。此の關係を心得て置けば、或る食品の一定量が、體內で幾何の勢力を發現し得るかを、「カロリー」で云ひ表はすこと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は、極めて容易く出來ます。即ち分析表を見て、其の食品中に蛋白質・含水炭素・脂肪が、各幾許あるかを求め、次に之れに蛋白質及び含水炭素には四・一を、脂肪には九・三を乗けて、得た所の數を寄せればよいのであります。

茲に又一考すべきは、食べた食物が、悉く消化吸收せられるのでなくして、其の幾分は、消化吸收を受けないで、糞便となつて再び體外に捨てらるゝことであります。之を損失量と云ふのでありますが、之れは植物性食品では、動物性食品よりも高く、例へば肉類の蛋白質の損失量は、取つた量の二乃至八分であるのに、白米及びパンの蛋白質の損失量は二割に達し、麥飯の如きは殆んど四割に達する者であります。又同一の物品でも調理の仕方で大に損失量に違ひがあります。例へば大豆を煮豆にすると、其蛋白質の損失量は三割七分であるが、豆腐にすると僅かに四分に過ぎません。そこで種々なる食品を混食する場合の損失量を檢らべて見ると、粗食の時は二割、消化し易い物を餘計に取つた時は一割で、平均一割五分と見做すことが出來ます。そこで、總溫量から、其の一割乃至一割五分を差し引た殘りが、眞に體内で吸收を受けた養素の發生し得る溫量で、之を利用溫量と云ふのであります。

以上述べた關係が明瞭になつて居れば、食品の分析表を基として、保健に十分なる食物を選び出し、必要なる溫量を滿たし得る樣な食物を取り合はすことは、容易く出來るのであります。

然る所、前に述べた保健食料の標準は、是れならば大丈夫と云ふ所を示した者で、止むない場合には、此の分量より、もつと節約しても、健康上差支なくやつて行けるのであります。經濟上から云へば、一般に蛋白質に富んだ食物が高値であるから、成るべく蛋白質を儉約することが肝要であります。そこで之に就いて近頃研究された所によると、一日の蛋白質攝取量を、標準食料の半分位迄下げても、他の養素の分量が十分であれば、保健上差支ないことが唱へらるゝに至りました。又た總溫量も止むない場合には、平常の半分位で足りると唱へられて居ます。もつとも斯樣な場合には、食物を十分に咀嚼して、能く消化吸收を受ける樣に心懸けねばなりません。現に今度の戰爭で、從來學者が小仕掛で實驗室の中で試みた所のものを、大仕掛で實地に試驗されてたのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

田植をする女學校

一　女學生が肥料かつぎ

女學校の生徒といへば海老茶式部など、あだ名され、ハイカラな、お轉婆娘をさへ胸に浮べますが、女學校の生徒で大根も作れば菜もつくる、肥料桶もかつげば土運びもする、豚も飼へば鷄の手入もする、四月には牛を使つて田のすき返しをする、六月には田植をするといふ所があります。その珍らしい女學校をみて來ましたから、そのお話を致しませう。

二　始め生徒が十二人

廣島市から十七里、山陰道の濱田に通ずる國道に添つた新庄村（山縣郡）の私立の新庄女學校が其であります。去る五月三日に丁度學校の十週年目のお祝ひがありましたので其を拜見に參つたのです。もと其處の村の先生で、今女子大學校の寮監をしてゐらつしやる須田清子さまと御一所でしたから、尚たのしくありました。

村につきますとどこの家も提灯をかざり、飾りつけをなし、花火などあげてお祭りのようでした、村は千尺も高い土地ですから、五月といふのに風が寒く、山櫻が盛りで雪さへふりました。

學校は明治四十二年の創立で、始めは生徒が十二名しかなかつたさうですが、今では百名あまりになり、遠國からわざ〳〵此學校を慕つて參るものもあるさうです。

といふのは、此學校の目的がどこまでもヂミで、よく働く農村の主婦を養成するといふ點にあるからです、理科も修身も、算術も歷史もいろ〳〵の學科もありますが、さういふ稽古をするのも、皆實際に役

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

立たせる爲でありますので、只むやみに暗記したり試驗の爲に勉强するといふような所がなく、落ちついてまじめに陰日向なく勉强してゐます、學課の勉强の外に野菜園もあります、果樹園もあります、水田も畑もありまして此處で生徒は先生と一所に草取もすれば、麥刈もする肥料もやれば鷄舍の掃除もする。六月の田植時には野良着を着て生徒も先生も唄をうたひながら田植を致します。

なんとたのもしい學校ではございませんか。

四　生徒は姉と妹のやう

生徒たちはみるから丈夫さうです。服裝は至つてヂミで髮飾りもありませぬ。しかも優しく柔和で愛嬌に富んで居ります。私は寄宿舍に泊めていたゞきましたが、それは〳〵親切で家の妹のような氣がいたしました。

先生と生徒とは親子のように睦まじく、しかもお互に愛と敬とを以て接し合ひ、愛に狎れるといふようなことはありませぬ生徒は皆姉妹の愛を以て交際し嫉妬もなければ、爭ひもありませぬ。姉さんよ、妹よとその仲のよさは、そのみる目もいぢらしいのです。

豐留校長は日本女子大學校の出身で優しい親切な立派な人格の方で大勢の生徒から母のように敬まはれて居ります。他の先生方も皆立派な方で、一つ心になつて校長をたすけ、生徒を愛してゐられます。

新庄女學校生徒味噌つき

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

看病

山海の美味
山や海のをいしもの

つれづれ
なすこともなくぼんやり

終日
一日中

いたはり
大事にめんどうみる

適當
身にかなつた

世に病人ほどあはれなるものはなし。春の花、秋の紅葉も心の儘に見ること能はず、山海の美味も心の儘に食ふこと能はず、讀み書き縫ひ物も心の儘に勉むること能はず、唯つれづれと籠り居て終日心を傷ましむるのみ。

世の中にからだのぐあいのわるい人ぐらゐ氣の毒なものはありません、春の美しい花も秋のもみぢもわが思ひ通りにみることは出來ず、面白い本を讀んだり、手紙をかいたりすることも出來ず、女としてのつとめの縫ひ物も思ふように勉めることが出來ませぬ、たゞぱつねんと家の中にこもつてゐて一日心を苦しませ氣をもむばかりです。

此のあはれなるものをいたはり慰むるは、人たるものの務めなり。殊に女子は心やさしく注意細やかなるものなれば、看病のわざは最も適當の務なり。

この氣の毒なものを大事にめんどうみて慰めるのは人の務めであります。その中でも女子は心がやさしくものごとによく氣がつきますから病人の世話にはばんじつごうよくあります。

病人の室はをりをり明け放して空氣を通し、悪しき空氣の滯らぬやうにす

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

しば〳〵　いくども
清潔　きれいに
雜具　いろ〳〵などうぐ
立居振舞　立つたり座つたりすること

べし。然れども風の向を考へて風の直ちに病人に當らぬやうにすべし。衣服もしば〳〵取り替へて風を通し日に當て、汚れたるをば直に洗ふべし。こは常の人にも要用の事なれど、病人には殊に心を用ひて萬事清潔をむねとすべし。

病人の室はとき〴〵明け放つて空氣を通し、惡しき空氣のたまらぬやうにしなければなりませぬ、けれども風の向を考へて風のすぐ病人に當らぬやうにしなければなりませぬ。衣服もとき〳〵取り替へて風を通し日に當て汚れたのはすぐに洗はねばなりませぬ。これは病人ばかりでなくだれでもに大切のことですが病人にはわきても氣をつけてものごとみなきれいにしなければなりませぬ。

病室は雜具をよく取り片付け、時々の花、青葉又は面白き繪などを程よく飾り、事少なに奇麗にすべし、立居振舞障子の明けたてを荒々しく忙がしくすべからず、何事も病人の心靜かならんやうに心がくべし。

病室はさしあたり用のない道具などを取り片付け、季節〳〵の花、青葉又は面白き畫などをほどよく飾りあまりごた〳〵させずにそして奇麗にしなければなりませぬ。立つたり座つたり、障子の明けたては靜かにして荒々しくしてはいけませぬ、何事も病人の氣がをちつくように氣をくばらねばなりませぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

憂へ顔　心配さうな顔
さゝやき　小聲でものいふこと
返答　へんじ
はべる　座つてゐること
介抱　病人のめんごうみること
全快　すつかりよくなる
意外　思ひのほか

病室に在りては憂へ顔をなし、或は小聲にさゝやき合ひなどすべからず、斯くすれば、病人は己れの重き故かと心を痛ましむるものなり。又病人に妄りに話しかけて返答せしむべからず、唯面白き話を聞かせ、又は靜かに仕事をしつゝ傍にはべるべし。

病室に居つては心配さうな顔をしたり、又は小さき聲で話し合つたり、耳うちをしたりしてはなりませぬ。こうすると病人は自分の病氣の重いことを話してゐるのではないかと心をいためるものであります。又病人に勝手に話しかけてはなりませぬ。たゞ面白い罪のない話を聞かせたり又はしづかにそばに座つてゐなければなりませぬ。

斯く親切に細やかに靜かに面白く、介抱する時は病人の心安く平らかにして全快も意外に速かなるべし。世の諺にも「一に看病、二に藥」とて看病の力は遙かに藥の力に勝るものとせり。

こうして親切にこまかの所に氣をくばり、しづかに、面白く病人の世話をする時は病人の心がをちつき安心してよくなることも思ひの外早いでありませう。世の諺にも「一に看病二に藥」(何よりも一番きくのは看病で藥はその次ぎであるといふこと)といふて看病の力はズット藥の力に勝れるものとして居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

あめりか女學生の教訓

あめりかといふ國は、今度の戰爭で一番名を賣つた國で、大總領ウヰルソンといへば三つ兒も知つてゐます。國も大きくお金持でもあります。此の國はもと英吉利の領土で獨立しましてから、百五十年ほどしかたゝぬ國ですから歷史は少ないのですが、その代り面倒な習慣もなく、至つて自由な國であります。

此國の女は男子よりも元氣がある位で、婦人の演說家もあれば、學者もある、辯護士もあれば飛行機乗りもあるといふように、男なんぞにまけてはゐません、婦人が政治に與るのは當然だといふて選擧權の要求をしまして、どうく／＼ものになりました。女代議士もぞく／＼出ることでせう。盛んな國であります。

此のあめりかの女學校の生徒の訓をごらんなさい。

○あめりか女學生格言

一　料理法を知らざるべからず

二　ぼたんの紐をかがることゝ、衣服の洗濯とを他人に託するは婦人の

家庭の重寶

□**疊の垢をきれいにする方法**　橙を二つに割りこれでこすり、あとを雑巾でふくか又は酢でふくがよい、疊のついたのは水で洗ふと却つて疊の目に浸み込むから、そのまゝ乾かし藁かきれいな藺うら草履で其上をこするがよい。

□**疊に石油のこぼれしを拔く法**　こぼれた上に紙をしき、これに紙のこげないほどの熱い灰をのせて置くとすぐに拔けます。

□**便所の蛆蟲をとる法**　くそつぼの中へ蕁菜を一杯入れて置くとよいと申します。

□**便所の臭をとめる法**　夏になると便所が匂つて困ります。それに虫がわくと氣持が惡くなります、無暗に殺虫劑や臭氣どめくすりを入れると肥料のきゝめがなくなる、一番よいのは、灰をふりまいて置くことです。こうすれば一番經濟であり虫を殺し、臭氣を止め、肥料としても非常に結構である。

□**障子の糊のつくり方**　唯の糊で貼つては雨

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

不名譽なり

三　パンの燒方を知らさるべからす

四　一弗は百仙なることを忘るべからす（一圓は百錢なることを知らざるべからすと同じこと）一家の主婦とならば、良人の收入と其出費との過不足なき樣に計算を怠る勿れ

五　借金をしつつ流行物を買ふは恥なり。

六　身體の健全が第一なり、健全の癖に肺病患者の眞似をなすべからず

七　日用品を買ふに一錢二錢を値切つて、香水を買ふに一圓二圓を吝まざるは經濟を知らざる婦人なり

八　裸百貫と雖、正直にして勤勉なる男子は、百萬圓の富める怠け者より尊きことを知れ

九　音樂よりも、美術よりも、文學よりも、パンの大事なることを知れ

十　然りと否とを正直に答へ、男子をして迷はしむる勿れ

十一　汽車や馬車よりも歩行の便利なるを知れ

十二　結婚は金と體裁のためにすべきものに非ずして、相手の眞價を知りて後行ふべき也

皆樣新らしい國の、新しい女學生の敎を知つて何んと感じましたか。日本とどこが違ひますか。

にあひ風にあふとすぐはなれますから、糊に燒めうばんを少し加へて貼ればそんなことはない、燒めうばんをまぜると、はりかへのときもきれいにはがれる。

□土藏の蟻をふせぐ法　蟻の巣又は蟻のついた所へ、クレオソードを注射するとすぐ死んでしまひます。

□簡便鼠よけ藥　古布に松根油を浸して之を鼠の穴のそばに置くか、又は是で穴をふさいで置けば全く鼠を退治することが出來る。但し時々新らしい油を其の布に注ぐこと。

□栗のイガと鼠よけ　鼠が天井でさはぐ時に栗のイガを置けば妙にとまります。

□障子を丈夫にする法　勝手口や風の強く當る窓の障子は兎角破れ勝でありますから、寒天を煮てそれを刷毛で障子へ塗つて置くと非常に丈夫になります。又卸ろし大根をしぼりその汁を塗つてもよろしい。こうすると、低の質も大夫になり、光線もよくとほります。

□蚤の糞をとす法　白いものについたのはなかなかとれぬものですが、鹽をつけて洗へばきれいになります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女と記者

○處女より

私はどうしてこう敵が多いのでございますか、つくるつもりでないのですが、敵が出來てこまります。どうかして敵が出來ない工風敵を愛する工風ををしへて下さいお願ひでございます。(×十子)

○記者より

敵が多いと仰言る意味は、よくわかりませんがあなたとお氣の合はぬお友達が多いといふことゝ想像して御返事致します。

人は十人十色とか申し、顔の異つてゐるように氣も心もその人のすきごのみも同じでありません。だからつとめて自分といふものををさへて、大勢の人の心に叶ふよう氣に入るように心がけ、交りをしなければなりませぬ。

君子の交は淡くして水の如く、小人の交は甘くして甘酒の如しとか申します、慾得をはなれ、清い心と心とを以て交つてゐますれば、永く仲のよいお友達となられます。

あなたは清く正しい方と思ひます、其で敵が多いといふことは、不思議であります。然しまたよく考へて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

みまするとあまり人はガンコ一方でもよくありませぬ。あまり濁つた水には魚も住みませぬが、澄みすぎても魚が育ちませぬ。仲のよい友達同志には秘密を言ひ交はせるもありませう、また少しは無理と思つてもきいてやらねばならぬこともございます。よくないことはキッパリ斷はらねばなりませぬが、義理として承知せねばならぬことも多うございます。

その邊の人情をよく

其の時々に察してお交りなさい

あの方は變りものよ、とよく言はれる人が、男にも女にもあります。そうなると尚自分の心がひがみ『私は一人ボッチだ、誰も交つてくれない、淋しい』と尚陰氣になつてしまひには世の中がやたらに悲しく哀つぽくなつて來ます。男にもさういふ人がありますから女にあるのは無理はありません。

あなたはもつと〳〵氣を廣くおもちなさつて誰でも自分を信じてくれる、味方であると信じて御友達とお交りなさい。

敵だと思ふ人にも

同じように親切になさい。その中にいつかはあなたの清いお心が通じます。もと〳〵私達はみな兄弟です。姉妹です、誰でも兄となり妹となることの出來る身分です、敵や味方などのあらう道理がございません。

朝鮮の田舍の生活

◎遠慮なく身の上御相談下さい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女の家出

——氣をつけねばならぬ——

△新聞の募集廣告▽

○歌劇の女優になりたい

今頃よく新聞紙に處女の家出が出て居ります。ツイ二三日前も青森縣〇〇郡〇〇村の財産家の姉妹娘がお家のお金を二百八十圓持つて東京に參りました。其は近ごろ流行になつてゐる「歌劇」の募集廣告をみてぼんやりと上京したのださうで、警察ではすぐ其の不心得を說き親許へ返してやつたと申します。

○うまくゆくのは千人に一人

新聞紙にこそ出ませぬが、こんなことは毎日ない日はないさうです、その結果はどうでせう。中には立派に成功したものもありませうが、其は千人に一人でございます。其で皆樣は新聞の廣告なぞをそのまゝ信じたりしてはなりませぬ。た

○茶つみ唄と田植歌

□茶つみ唄

別れぢやと云へば淚もこぼれます
　こぼれる淚はお茶のつゆ
心からさてわが土地はなれ
　知らぬ他國で苦勞する

○

摘みやれ、お摘やれ宇治の里の茶つみ、二十あまりは姥の花よ、二十の人にホさかいて茶といふ文字によむわいな、いずおろして茶なつみやれ、

○

お茶摘み、茶摘み、なんぼつんだ茶つみ、千葉つんだ茶つみ、千葉のお茶も一葉の葉より駿河の富士も芥のつもり、たゆまず倦まず一杯つめ茶つみ。

□田植唄

白さぎが小首かしげて二の足ふんで
　やつれ姿を水かがみ
水に浮草美事なものよ
　おらも小紋に染めて着よ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

しかの商店や會社へやとはれる時でも、よく考へよく兩親と相談なされ、その上に處女會長なり校長なりの意見を伺はねばいけません。

少女歌劇女優募集 尋卒にて佳見習中手當出す二月卒至急申込め
東京神田……協會

女子事務員募集 尋常卒十分服供す月廿五圓以上有望本人來談
東京小石川……商店

といふやうな新聞廣告は多く何か深い譯があると思はねばなりません其でなければ詐僞同樣です。何も知らぬ田舍の娘を誘ひ出してお金をとらうといふのです。

○女優は仕合せか

考へてもごらんなさい、小學校を卒業した位でどうしてすぐ立派な女優になれませうか。立派な事務員になれませうか。一人の下女を使ふにもよく身許をしらべ、本人の行をたしかめ世話人を取つて始めて使ふではありませんか。凡そ自分の力量より割のよいと思ふような仕事はけんのんと思へばまちがひありません。

嫁をとるなら田植にしやれ
　手癖よい娘は直ぐ知れる

昔名主の娘が今じや
　赤い襷で苗をとる

此田で千石されたなら、藏を建てます米藏を、お藏の番にはたが善かろ、一につばくら、二に雀、三に鶯ほとゝぎす。

田さへ植ゑたら田の草は
　取らせやせまいよ殿御には

星をいたゞき月ふみ歸れ
　農はみ國の本ぢやもの

向ふの小山で雉がなく
　雉子はそらなくつまをよぶ

此處は街道のみちのはた
　美事に植えてほめられう

今年はこれきりお田の神
　御縁あるなら又來年

今年これきりお田の神
　鯛やひらめで祝ひます

今度別れて又何時逢はうか
　せめて三月茶つみ頃

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

螢の旅行

◈

『小包が參りました』

何處から何が來たのかとみますと六寸四方位の螢の入つた箱でした。金あみの中からピカ〳〵光つて居ります。

よく無事で着いた、さぞ咽喉が乾いたであらうと私は水をふくんで霧をかけてやりました。

興津の花のふるさとから毎年螢が小包で參ります。東京では誰もみたことのない頃にきますので、みな大喜びで、子供のある親戚へ少しづゝ配けてあげます。

『駿河の螢が汽車に乘つて富士山を眺めながら東京に來るなんか仕合せだわ』

と美枝子が申しますのでみんな笑ひました。

『一等に乘つて來たでせうか』

と花子がいつたので又みんな笑ひました。

◈

夕方入口をあけて少しづゝ袋に出しました、遁げていつてしまつたのもありました。近所の子供が爭つて取りに參ります。

小袋に入れて電車に乘りますと、みんなして珍らしさうに眺めて居ります。

『螢よ駿河の螢よ、お前は汽車にも乘るし、電車にも乘るし、仕合せだ、然しお前には矢つ張り草深い田舎の小川のほとりがよからう、戀しからう、自由に飛んで甘い水を吸つてね、然しお前は都にあこがれて來たのではない。私は何んだか氣の毒でならない、然し私の今お前をつれてゆく家は、皆お庭もある深切な家だからお前を可愛がつてくれるよ、安心しな』

螢は方々に配られました。孃ちやん坊ちやん達にさぞ可愛がられてゐることでせう。

東京の夏の緣日は、せめてもの慰みであります、緣日で一番よく賣れるのは、植木です、昨日今日百合の花が一番多く、バラや松葉牡丹や月見草もきれいです。ソレカラもう鈴虫も松虫も賣りに出ました。今年は物價騰貴で虫もさぞ高いでせう（きく子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

七夕のゆはれ

□星の御夫婦

昔天の川の東に機織りや裁縫の上手な行の正しい處女が居りました少しの間もヂッとしてゐません、いつも働いて居りますのでお化粧なんぞしたことがございません。天の神さまがお氣の毒にお思ひなすつて天の川の西のひこ星の所へお嫁入りさせました。

すると織女はひこぼしの愛にをぼれて、あれほどの働き手が大のなまけものとなつてしまひました。神樣は大へんお腹を立てられ、二人の仲を割いてもとの川東につれて歸りましたが、神樣のお情けで、せめて一年に一度だけ逢ふことを叶へさせて下さいました。その日が七月七日の七夕であります。

□なつかしい七夕祭り

七夕は五節句の一つで七夕踊などを催した土地もあります。若竹に「天の川」「七夕ひめ」などかいた色紙をかざり戸毎に立てます。みどり深い夏のはじめの里にこの色紙のひら〳〵としてゐるのはなつかしいものです。子供の頃朝早く起きてお芋の葉の露を硯にため、其で墨をすつて畏つて色紙にかいたことを思ひ出します。

お話のたね

○もの丶はやさ

人の歩行は　一分間に四十間、一時間に一里
急行列車は　一時間に二十九里
傳書鳩は　一時間に三十六里
しづかの風　一分間に四十間
あらし　一分間に二十六町
音　一秒間に三十四間
地球のまわるはやさ　一秒間に三町二十六間
大砲の彈　一秒間に三町二十六間一時間に三百四十四里

○動物の食費

（上野動物園のしらべ）

獅子　三食とも牛肉一貫二三百匁、四日目に鷄四百匁、一日食料　壹圓拾錢
虎　馬肉を好む、一日一食
熊　一切精進物のみ、豆腐のかすとあめとを四分六分にし、さつま芋を交へ一日一食、價拾錢
象　一日食費貳圓六七拾錢
ラクダ　フスマ蕪麥引麥と干草、五拾五錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

段々すたれて來ましたが、こういふ行事は何んとも言へぬ味がありますので出來るならばあと／＼までも殘して置きたいものです。電車が通り馬車が通る都會では往來の邪魔にもなりませう、があちらに三軒こちらに五軒の農村ではそんな心配もありませぬ。少年や女のよいたのしみです。

□七夕は婦人のお節句

七夕を青年處女會又は少年少女の修養娛樂と結びつけて考へるとなつかしくあります。色紙に上手にかいて若竹に結びつけるのは、一種の習字展覽會なのです。天の神樣に御覽に入れるのです。

殊に年若い娘と七夕祭とは緣があります。其は織女のようにお針が上手になり手藝の巧みにあやかりたいとの心願があるからです。色紙の代りに五色の糸をかざる土地もあります。つまり今の習字、手工、圖畫の練習會と展覽會が七夕祭の精神なのです。

□女工と七夕

植ゑつけた稻も十分に育ち夜每／＼の稻光りに害蟲も死にます。暑いといつてもそんなに暑くもなく夕方になると涼しい風が起ります。

青年會處女會で習字圖畫手藝の展覽會でもしてほしいと思ひますが何分その前が忙しかつたので準備もありますまい。其では談話會か敬老會をお開きなさい。

わに　一日十錢
さかげ　雀と馬の肉一週一回參拾錢
鶴　どぜう拾壹貳錢
猿　あいけふものにて貰ひ物多ければ、さつま芋と人參にて一日貳參錢

是は古いしらべですから、物價騰貴の今日ではよほどあがつてゐませう。

○日曜日の始め

日本で日曜日と休みの日と定めはのた、明治九年三月十二日であります。

○一人で三百二十八俵食ふ

一度に三杯の飯を食ふとして一日三度づゝなれば一ヶ月二百七十杯にして、一日に三千二百八十五杯、一杯の飯を米五勺とすれば一日に四合五勺、一年に一石六斗四升二合五勺である。七十歳まで生きるとすると、百十四石九斗七升五合、之を三斗五升入の俵にすると三百二十八俵になる、一俵拾圓とすると三千二百八拾圓は米の代だけ。

○奇妙な名

古屋敷新九郎五右衛門
草刈鎌右衛門

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

嫁と姑の和合のうた

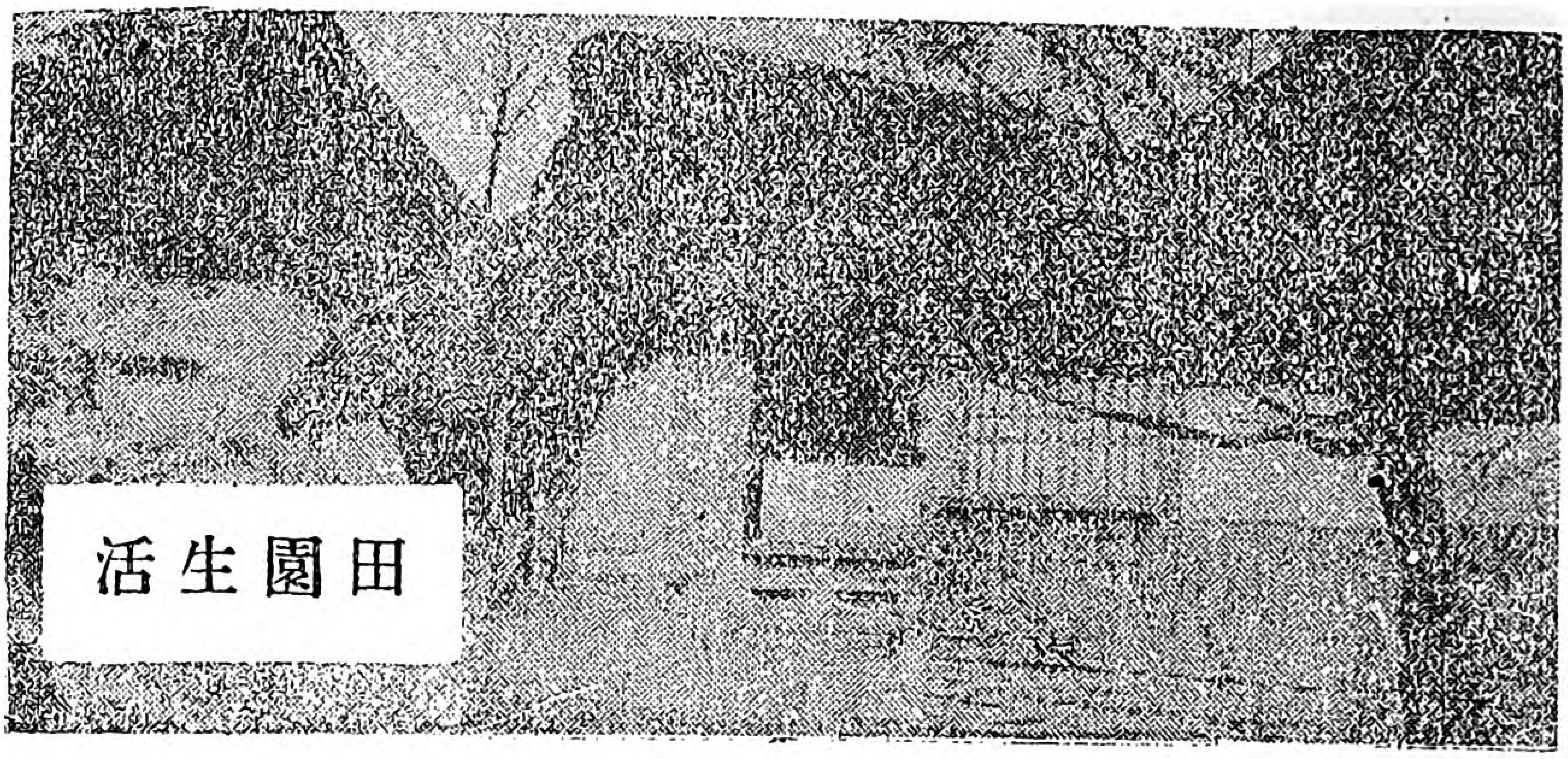
何の因果か前生で
犬と猿との嫁姑
敵となるも心から
味方となるも心から
姑ばかりが惡くして
嫁さんばかりが善くもない
嫁さんばかりが惡くして
姑ばかりが善くもなし
人には心のあるものぞ
なさけも涙もあるものぞ
姑は嫁の身にもなり
嫁は姑の身にもなり
たがひに心くみとりて
其日〳〵を立てゝ見よ
嫁の落度も氣に入らず
姑の小言も苦にならず

深きゑにしのあればこそ
短きこの世に生れ來し
親となるのも因緣ぞ
嫁となるのも因緣ぞ
こゝのいわれが知れたなら
杖と柱の嫁姑
たがひにたよりたよられて
お慈悲の中に日をくらせ
かならず愚痴もいふまいぞ
かならず小言もいふまいぞ
いやな顔付きしたいなら
ナムアミダ佛とさきにいへ
今はお慈悲に手をひかれ
御恩よろこぶ家の內
この世からなる極樂ぞ〳〵

親子心得草

三千世界の親ごゝろ
子より可愛きものはなし
胎內十月のころよりも
かげ身はなれぬこの辛苦
ねやのしとねのその中も
ぬれたるかたに身はいねて
かはけるかたに子をばねせ
そだて上げたる甲斐ありて
みごとその子が出世して
名譽の花はさかしても
もしや後世をわすれたら
末は烏のなきわかれ
親は無間の火にこがれ
その子は三途の闇になき
永劫逢れぬ西東
これでも親子といはりよふか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



田園生活

處女の方よりうれしい便り

畑から疲れて歸ると

關口 かく子

なつかしい先生お變りはありませんか、私はまた先生には一面識もない昨年入會した許りの處女でございます、何卒末長くお目かけ下さい。草深い田舍に育つた私は少しも世の中のことをしりませんでした。思へばうれしい昨年の十一月取り入れに忙しかつた秋の日ひねもす一生懸命畑にはたらいてつかれた足を家にはこんで歸りました、其の日〳〵あのたのしみ多い處女の友は送り屆けられたのでした。先生私のよろこびはたとへようもなかつたのでございます。毎日仕事のひまによむのをたのしみにしてゐます。おなさけ深い先生のお導きによつて、私も世間に出ることが出來るようになりました。

ごほうびの一圓で

藤松 さく子

(前略)それから貴會の御趣旨と申し「處女の友」と申しあまりに良い前途有望な雜誌なのに感心致しましたので皆樣に御わかり致して處、處女會中央部の設立をよろこび且は處女の友の講讀をお勸め致し度いと思ひましたから先年**兄よりいただいた一圓**がありましたからこういふ時に使へば兄もさぞよろこぶであらうと心付き早速特別に送金致しました。五月號六冊一時にお送付下されますよう御願致します、末筆ながら貴會中央部の益〻發展せんことを祈ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

美しい處女の心

山崎しも

露西亞は首府「ペトログラード」の一部に、貧民窟がありました、そこの人達は皆其日活しの工夫や車夫や日傭稼ぎ斗りで、一室に七人も八人も薄き夜具を力に休むといふ位であるから、市街の穢い事、不潔な事はお話にはなりません。或時巡査が此の町を巡警してゐると前から下女らしい身装をした人が參りましたが、何か拾ひまして、

大切にポケツトの中に

仕舞ひこみさつさと向ふへ行きますので、見て居た巡査は、こんな處に目欲しい物の落て居る筈はない、しかし大事に仕舞つた所を見ると只の物ではあるまいと、不審を起し後追かけて呼留め「其方は今何を拾つたのか」と聞きますと、其の女は「申上る樣な物ではありませぬ、つまらぬものです」といつて見せようともしないから警官は愈々不審を起し、

女だけのお話

□山の神

家の山の神はどうも――などゝ細君のことをいふ人がある、ちよつと聞くと髪をふりみだして、頭に角を生してゐる恐ろしい女のように聞えるが、この言葉の起源は優しい心から出たものである　つまりいろは四十七文字の歌の中の、おく(やま)のかくし言葉でやまのがみ(上)といふことである。

□お白粉のはじまり

お白粉は、持統天皇の六年に始めて出來て女が使つたと申します、してみると今から凡そ千二百年前から始つたことです。

□女子の天職

獨逸皇帝が婦人の天職を三字に顯はされたものを見ると一、キンデル(兒童)二、キルヘ(教會)三、キユヘン(料理)

よく子供を愛し育て神を信仰し、臺所の用

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

金の指輪でも拾つた

に相違ないと思ひ、聲を荒らげて糺問すると、女は仕方なくそれでは御覽下さいましといつて差出すのを見ると長さ二寸位の硝子の破片です、警官は變に思つて、お前は之れを拾つて何にするのかと半蔑むやうな語調で問ひますと、女は何にも致しませぬ捨てるのですといひますから、巡査は笑つて、捨てるものなら拾ふには及ぶまいとき、ますと、女は容を正して申ますのに此邊の人達の往來は、跣足が主で靴も破れてゐて滿足な履物を穿きませぬので、もし此の

硝子の破片で怪我でも

しては大變だと思ひましたから、どこか安全な所に捨てようと思ひ拾つたのですと申ました、之を聞た警官は其の立派な志に感心し、自分の心がしみ〲恥かしくなつて、此の下女を伴ひ行き、署長に引合せ有し次第を物語りますと、署長も其公德心の厚く如何にも同情に富める行爲を褒賞いたしました、此の人は格別學校敎育を受けたと申すではありませぬのに、さても美しく芳はし心根ではありませぬか。

ゐする女か一番立派だといふことなのです。日本とはちがひますが。

□美人の果

スコットランドのメリー女王は非常の美人で其頃の歷史家の書いた所によるも、當時人間の姿をしたものの中一番美人としてある、この時その頃一番ガンコで通つたノックスといふ人が宮殿に出てメリー女王の浮かれてゐる所にいつて

　さても向ふ見ずの女かな、人間の生涯がいつまでつゞくものか

と申しました。二三年の後女王は殺されました。

□うつむくは

俳句で名高い加賀の千代女がある時大名に召されて畫をかきますとき、うつむいて顔を少しもあげませぬ。殿樣は、もつと顔を上げてかけよと仰言いますと、千代女は

　うつむくはそのおきてなり百合の花

とすぐさまよんだと申します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

岩崎みわ子

◎木の葉の雫一つから

三井家と相並むで我國の二大富豪と稱へられて居る岩崎家に、二個の家寶が傳へられて居ると云ふ事である。

其の二個の家寶は何であるかと云ふと、其一は五合桝と、其一は綿帳であつて、然かも其の五合桝の底裏には幾つとなく庖丁の痕跡が殘つて居ると云ふ事である。

日本の大富豪、岩崎家に斯かる鎖々たるものが家寶とされて居るかと頗る不思議の感がするが、靜かに同家發展の歷史を辿ると、此粗末なる二家寶は慥に同家の勤勉質實なる家風を物語る絶好の紀念で、特に之等の家寶は日本の海上王岩崎彌太郎其人の母堂みわ子女史の主婦としての苦心經營を物語つて居るのである。

千里の海の源を尋ねれば木の葉の雫!、今日日本のカーネギーと稱へられて居る岩崎家も其本を尋ぬれば、土佐の貧しき一鄉士であつた、然かも其の一鄉士の妻女みわ子が、良人を助け亦よく彌太郎彌之助の二子を敎養して、今日あるに至らしめた努力は尋常一樣の事ではなかつた、いでや、玆にみわ子女史の丹精を敍べて、若き人々にお話いたさう。

◎淸潔は精神の凱歌

岩崎家の故鄕は土佐の國安藝郡井ノ口村といふ極めて淋しい村で、此村には奈半利河といふ小さな川が流れて居る、此河こそ實にみわ子女史の後年に取つては思出多き河であつた。

同家が此の井ノ口村に住むでゐた頃は、固より有福なる家庭では無かつた、爲に一家の世話女房たるみわ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

子の努力は非常なもので、裁縫、料理、掃除、洗濯に日も足らぬほど能く一家を整理してゐたが中にも其の洗濯の場合には、みわ女史は、幼き彌太郎を背負ひ、彌太郎の稍長ずるに及むでは彌之助を背負つて、此の奈半利河に往つて、衣類の洗濯に餘念がなかつたのである。

洗濯？、此の二字に極めて平凡な文字である、然かも、此の二字の中には主婦が其家を整理するに缺くべからざる要素が含まれて居る、畢竟物を清潔にするといふことは、勤と儉との入口で、また愉快と幸福との門である。若し之に反して不潔なる時には、縱令花を欺くが如き美しい婦人でも、之が爲に其の光彩を失ひ無邪氣なる子供も、之が爲に執拗い、短氣な、癖の惡いものと爲つて、果ては賤しい根性と成つて、智慧や分別に自から遠ざかつて仕舞ふ。

要するに、身體は精神の殿堂であるから、其の莊嚴を保つ爲には清潔でなければ成らぬ、高い思想や、清らかな心根は、つまり身體の清潔なる習慣に基くと云つて善い。

されば、縱令狹く且つ小さい家にゐても、清潔で秩序ある家族は其の貧しき住家にも禮儀と體面とを維持して室内は能く整理し自から快活の氣に滿つるである。

されど、之に反すると、縱令美しい邸宅なりとも、家具や、物品は取り散らばつて物を尋ねるに狼狽し、最も必要なるものを探がし得ないといふ有樣で、從つて、金錢には不取締で、忽ち宮殿に似たる住家を不快の舞臺たらしむるのである。

畢竟清潔と秩序とは、事物の混亂を喰び止める精神の凱歌で、其の裏面には勇氣と計畫との潜む所である。

◎岩崎家の二つの寶

されば、みわ子女史が貧しき家庭を清淨にする爲に、奈半利河に洗ひ濯ぎに出掛けるは勿論の事、其の洗濯の爲には時の移るを覺えない程で、ヤ、と泣く子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

をすかしながら、一生懸命に働いてゐたのである、後年彌太郎が當時を追憶して。

『或る夜の事であつた、母は彌之助を負つて洗濯の歸りに體が非常に疲れて、神經にくるひを生じたものか道が前と後とに見えて、進むにも退くにも自由ならざる目に會つて、其眼をつぶつて暫らく休むで、ヤッと元氣づいて家に歸つた事がある』

云々と物語つた事があるが、此の物語の中にもみわ子が如何に其身を碎くまでに働いてゐたかを想像する事が出來る。

一事が萬事、みわ子の家事に對する奮鬪は皆此の通りで、夜は糸を紡ぎ、或は衣を織るといふ有樣で、念々思々、束の間も家政の整理といふ事を忘れないで、勤儉と質素とを以て其身を固さてゐたのである。

何時の頃であつたか定かには解らないが、同家の非常に困つてゐたの時代に、みわ子は五合桝で米を量る外に、桝の底裏を俎に代用してゐたのみならず、寒風凍る冬の夜に庭寒の風を凌ぐ爲に木綿の蚊帳を薄い蒲團に冠ぶせて家族と共に寢てゐたと云ふ事である、されば、今日同家の二寶となつて居るのは蓋し當時を忍ぶ種として居る譯である。

◎今も尚質素である

かゝる艱苦を凌いで來たみわ子は、其子の彌太郎が明治の大御代に成つて、始めて我國に通商航海の道を開いて有名なる三菱會社を組織して、其の事業は見る〳〵發展して我國の大富豪と爲るに至つた曉にても尚過ぎし昔を忘れないで糸を紡ぎ衣を織りて家人の衣服とするのであつた。

要するに、岩崎家が其後ます〳〵發展して今日に至りては、其の三菱合資會社の名目の下に、鑛山採掘や鑛物製煉や、其の賣買や、船渠や、造罐、造機業などの外、銀行を經營し、其の業を手廣く且つ盛んにして居るに拘らず、一家が極めて堅實に、且つ質素勤勉で、自からを奉ずる事の薄いのは、實にみわ子女史の感化による者が多いと思はれる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

全國處女會婦人會

處女會中央部に於て大正七年七月調査せる會員百名以上を有する會を左に列記する事といたしました。元より調査後に設置せられた會も澤山ある筈ですから。直ちに御報告を願ひ度い會則も御添へ下さるなら猶結構です

□北海道の部

會名	創立年月	會員數	會長氏名
泊自彊婦人會	大正四年三月	一二五	松崎せん子
泊火防衛生婦人會	同四年三月	一四八	向井よき子
古釜布婦人會	同四年七月	一五〇	盛合チヨ子
根室町立女子職業學校淑德會	明治四十年四月	一三七	林光宣
同校女子同窓會	同四十三年四月	二九三	同人
根室女子尋常高等小學校同窓會	同三十七年三月	六六三	金森久太郎
日新小學校女子同窓會	大正四年十二月	一五〇	山田恭三
孫小學校女子同窓會	同四年三月	一〇〇	小松忠八郎

□岩手縣の部

會名	創立年月	會員數	會長氏名
平泉村處女會	大正七年九月	一二〇	上飯坂直美
兒童敎會	同五年六月	一二〇	林義敎
島婦人良導會	明治四十四年五月	一〇三	古川萬次郎

□山形縣の部

會名	創立年月	會員數	會長氏名
市條婦人會	明治四十三年一月	一八〇	小野はる子

□福島縣の部

會名	創立年月	會員數	會長氏名
石川町處女會	大正七年三月	一四六	綠川幸三郎
泉村少女會	同五年三月	一四七	村松久衛
川東處女會	同七年三月	一二三	安藤保造
蓬田處女會	同七年三月	一五四	高濱兼造
小平村處女會	同六年三月	一二八	長谷川重三郎
淺川村處女會	同七年三月	一〇五	水野友兒
富久山村健行女子同窓會	四年八月	一六八	鈴木光吉
富田村少女會	明治四十三年一月	一〇〇	目黒周三郎
片平村母の會	大正三年三月	二五〇	星孝太郎

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

日和田校温和會	明治三十五年十月	一五〇	石澤セイ
郡山町第一小學校同窓會	同三十六年十二月	一〇二〇	慶徳多一
河内村母の會	大正元年十一月	一五〇	堀田喜左衛門
上伊豆校母の會	大正五年三月	二三五	舟橋丸介
豊田村母の會	同五年二月	二四二	伊東彝
旭田村處女會	同五年十月	二五〇	丹羽丹治
長口二川村處女會	同年七月	一六〇	中地倭馬
檜原村少女會	同六年十月	一一六	渡邊辰次郎
富田村少女會	同年五月	一二三	赤塚常次
小梁村處女會	同年三月	一四七	目黒辰美
伊北村處女會	同年一月	二一一	渡邊貞次郎
御木澤村處女會	明治四十二年三月	一〇一	武田友衛
高倉處女會	大正七年七月	一二三	半澤保
堀辨尋常校女子部同窓會	同年十月	一〇六	小泉千代美
須賀門處女會	同年三月	二九二	渡邊文彌
長沼町婦人會	同年十一月	一五〇	矢部保太郎
濱田處女會	同年三月	一一五	吉田孝三郎
臼方松友會	同年三月	一四四	太田カツミ

アイヌの處女會

時代の進歩と婦女子の自覺とにより今や全國到る處處女會が非常の勢を以て發達しました先頃北海道の方に伺ひますとアイヌの娘も處女會を開いてゐるさうです、其は十勝國帶廣町オトフケ村の處女會で大正二年の創立、會員は三十名ほど會長は栗山國四郎氏です、會長もアイヌ人です、なか〳〵よく勉強し貞操を守つてゐるさうです。今調べてゐますからわかり次第くわしくお知らせします。皆樣ウッカリするとアイヌにまけますよ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

岩手縣農會農村家事學校

一、起源

獨逸國農村補習教育の施設に則り大正五年より巡回開校せり

二、目的

從來農村農民の發展振興を期するの方法として各種の講話會、講習會を開催せしも、斯は獨り男子に限り婦女子に及ぼしたることなし然るに實際に於ける農村の狀況は男子のみの活動に依るに非ずして婦女子の提供する勞力甚だ大なり、是を以て男子の改良に熱心なるものありと雖家庭、婦女子の反對する所となりて農事の改良を實現すること能はざるの事情あり、故に婦女子に對する農事上の智識を啓發し進んで改良の念慮を起さしめ一面家事家政の改善をなさしめんが爲に要する智識を與へ農村婦女の補習的教育をなし婦女の向上心を喚起せんとするの目的に出でたり

三、開放の方法

町村農會の希望によりて順次巡廻開校す

四、組織

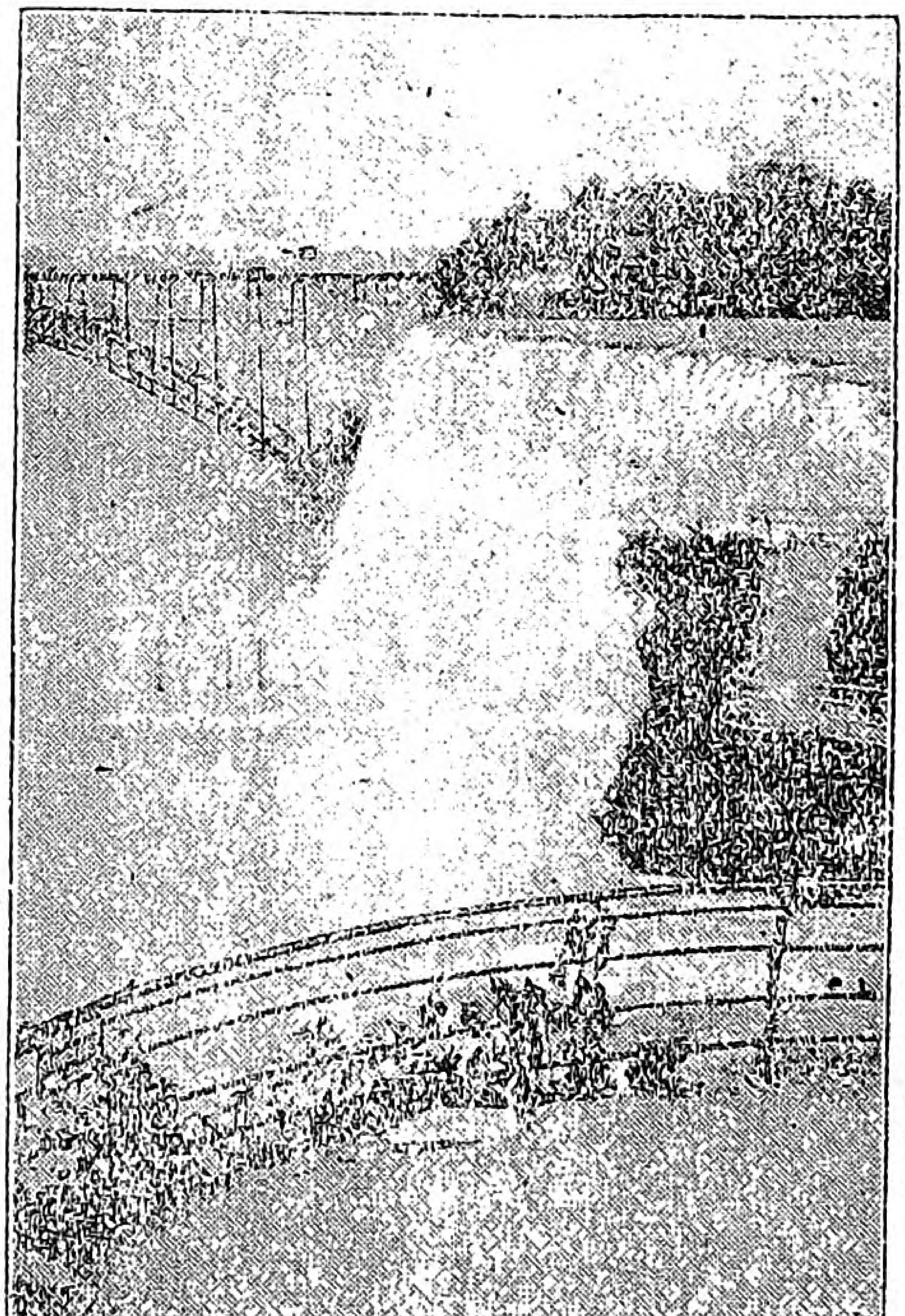
(イ)教師

岩手縣農會技術員四名、本縣地方指導員及高等女學校女教師(囑託)とよりなり、課外として縣視學、郡視學及郡技手の講演あり

(ロ)生徒

小學卒業の者にして既婚未婚を問はず町村農會に入學申出でたるものにして年齢に制限を附せず

今日迄の事實に依れば二十才前後最も多く十七八才之に次ぎ三十才以上末位にあり、而して未婚、既婚の割合は大約六と四との比にあり、今日迄の事實は最多百〇四名最少貳拾九名にして概れ五六十名の間に在り



ナイヤガラの瀧

(ハ)教授科目

家事衛生、看護、育兒、調理の大要(以上女教師)重要作物增收、蔬菜の栽培、植樹及手入、副業(地方によりて教授科目を異にするも大概養蠶養鷄、養豚等)家業、家政にして極めて通俗平易に教授す

(ニ)期間

開校期間は六日乃至七日間にして一日の授業時數五時間乃至六時間

大約開校の期節は冬期夏期の農閑期及春期作業開始前に開校す

五、本校の特殊なる點

(イ)所定の科目を終へたる者には岩手縣農會長の名を以て受業證を授與す、受業證とは單に其業を受けたるの證にして尙益々勉強して其の精を得べきものたるの觀念を固定し怠らず修養せしめんとの意味なり故に受業生は凡て一團となりて婦人農會又は婦女會を組織し該當町村農會の指揮奬勵に從へり

(ロ)右團體は年二回會合し會員相互の經驗談を交換すると共に本會は技術員の派遣を申請して講演を請ひ又共に實行すべき事項の申合せをなし實行しつゝあり

(ハ)年一回以上蔬菜品評會、或は家事展覽會甲種競技會又は講習會等を開催せるを以て地方青年の奮起を刺戟すること大なり

(ニ)從來の講習と異なり常に師弟の情誼厚く教師の命を守ること

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

（ホ）受業生一同より連署連名の誓約書を縣農會長に提出し地元町村農會長、村長、小學校長等より副署して監督をなすこと
（ヘ）敎師は年一回は必ず受業生の私宅を見巡り指導監督をなせること

内郷村處女會の料理講習會

＝神奈川津久井郡＝

▽講師は嘉悦女史の女子商業校
▽農村的にして村民の評を博す

神奈川縣津久郡内郷村には、遠き昔より「天神講」と稱し、每年春秋二回、月の二十五日に各部落の處女集合して、或は晩餐を共にし、或は茶話會を開催し、懇談及打合等をなし來たれり。

然に本村青年團は已に十數年前より、發達し居りたれば之に伴ひて女子の敎育も忽かせにすべからざる事を覺り、各部落とも思ひ〳〵に女子講習會を組織するに至れり。次で明治四十一年一月村立農業補習學校に「女子部」を加設したり、之れ本村處女敎育發展の基にして、夫れよりは女子部開始と共に、每年數回女子講習會を開催して女子に必要なる學科を修業せしめたり、爾來各部落の處女會は漸時規則的に組織せしを以て明治四十四年三月三日上巳の節句を記念として、之を統一し遂に一村としての系統あり秩序整然たる「内郷村處女會」の樹立を見るに至れり、會員は滿十四才以上の處女を以て組織し、現在百五十餘名を有し青年團と連絡を計り、時々老會員を招待して是れが慰安法を設くるなぞ、着々として活動しつゝある事茲に十餘年。特に本會の小さ誇りとして紹介したきは、百五十餘名の會員全部一定の規約の下に、每月積立の「郵便貯金」を決行しつゝある事にして、處女會へ入會以來結婚する迄は必ず實行する事とし、退會の際は貯金の幾割を残し、會の基本金にあつる事とし又退會者に對しては結婚と同時に記念品を贈與する事を定めたり。

本會の目的を貫徹せんが爲に從來實行し來たりし事業としては總集會、講習會、講話會、茶話會、書老會、招待會、遠足會、孝女墓参會（年三回）等なり。

總集會には從來名士の講演會をして來りしが昨年四月の總集會には「嘉悦孝子女史」を聘し、有益なる講演會を開き聽講者數百名、頗る盛會を極めたり。

講習會としては裁縫、作法、狩繭整理法、足踏製綵表等數十回開催し來りしが、本年は一月十日より二十一日迄「料理法講習會」を開催す會場は村内中央の正覺寺にて講師は嘉悦孝子女史の斡旋にて、同女史の經營せる日本女子商業學校の敎師小野寺千代女氏を聘し材料は主として農村にありふれたる人参、牛蒡、大根、里芋、甘藷等を用ひ、之れに油揚豆腐等を利用し最も經濟に專ら農村を主としたる、料理法を研究し、每日四種宛凡四五十種の實習する事を得たれば頗る村民の好評を博し開催中は、郡長始め每日參觀者多數ありたり。

講習員は各支部の處女會役員及代表者二三名宛選拔したるもの二十七名ありたれば、今後は各支部の處女を集めて時々講習を復習する事と定めたれば之等實行の曉には將來本村生活上の一大進歩を見るに至るべし。（會長報告）

記者曰く
内郷村處女會長は長谷川一郎先生で中央部の爲にも非常にお骨折下あいます

靜岡縣小笠郡西山口村處女會員　榛葉新子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

興津處女會敬老會

（靜岡縣庵原郡）

靜岡縣庵原郡興津町八木間では、大正七年一月十七日處女會の發會式をあげた、爾來毎月第一日曜に、區の補習學校兼公會堂に、五十名内外の處女參集し、會長大澤良作及び村小學校女教員二名の指導をうけつゝ品性の修養に、技藝の修得にいそしんである。

此區は特に興津町有力者たる、佐野氏、木下氏、及び現區長たる加藤氏の熱心なる後援者があるので創立後日を逐うて、堅實に成長し、大正八年二月までに、回を重ねること十三、先には東京内務省囑託にして處女會中央部理事なる天野氏の有益な講演をきゝ、今又處女會の催しとして最も美はしくふさはしい敬老會を催して、區内八十歳以上の老人十八名を招待し處女の財力とその手に成る、袖なし胴着及びおはぎを饗して樂しい一日を送つた。此日恰かも空うらゝかに、暖かい日かげは、餘寒の候も知らぬ顔に柔かな光を投げて、此日の催しを賛し喜ぶものゝ如く、風もなくて至つて靜かな老人日和であつた。

先づ、午前九時から集まつた處女三十何名は、兼ての役割により襷前掛姿甲斐々々しく、いそ／＼として、柔かい心づくしをおはぎにこめて、老人の口に合ふやうにと米磨ぎ、あんの煮方から作り上げるまでに、可成忙しい思ひをした。さて、前數回の處女例會に縫ひ上げ調へおいた暖かい胴着は、一々水引の、色も鮮かに掛けられた、此日は特に、前町長佐野角左衛門氏夫人より、老人へ寄贈のおすしもあつて、一層此會をして光彩あらしむべく、準備全くとゝのへば、處女は正午一旦歸宅中食の上、各自最寄の老人を招き伴ひつゝ午後一時頃より續々參集、老人の中には、常は二三町の所へもめつたに出ぬ人も、この日の處女らが志を喜び受けて、面に溢れる嬉しさを見せつゝ、覺束ない足を杖に手傳はせて集まつたそれは男女各七名づゝ、計十四名といふよい成績であつた。招く人も招かれる人も皆よろこびの色にみちて、やがて開會せられたのは午後一時半。この會を賛し、又はわが家親戚の老人が喜びを分つた、百名に近い見物の老若男女は、賑はしく公會堂に集つて居た。さて會長會の趣意を述べ、お茶、おはぎ、おすしに次いで、先の胴着を配し終れば、耳の遠いお婆さんも、背の丸いお爺さんも、目のかすむ老人も、大にこ／＼で座蒲團の上に、處女等が志を受けられた。中にもめでたいのは、夫婦揃つて參會した、青木作左衛門老夫婦で、然かも、翁は最年長の九十一歳であるといふ。

やがて、處女らが、餘興的の作法實習、かぞへ歌あり。老人側の餘興としては、伏見善兵衛翁のおとし話、謠ひ等もおもしろく、又來賓の老嫦人が三味線の飛入に、一入賑はしさを加へて、和氣靄々のうちに、午後三時半閉會、皆々うれしさうにお土産を包んで、處女やお迎への人に手をひかれつゝ、老人は各家へ引きとつた。此の日興津小學校主席、兼岩留三郎氏は、特に來賓として列席し一場の談話及び老人に贈る詠歌を披露された。又處女會の催しなのを以て、賛助會員、佐野、木下、加藤の三夫人も來賓として列席されたのであつた。（會長報告）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女文藝

遊學せる友に

千葉縣印旛郡富里村　國本敏子

雲雀が鳴てゐます。夕方近ひ水色の空に黒い影をポッチリ見せて何處迄も昇て行きます。思ひきり昇た時、すうつと降て了ひます。學校試驗で御多忙中をも思はず呑氣な手紙を差上げて失禮、あの餅草ですが、最早其處此處の堤の芝生にちらほら萌え出ましたの、都のお話何ひつゝ、菜の花匂ふ夕暮の窓に、お好きの綠色のお餅をお話と共に致し度くお歸りの日の一日も早かれとそれのみ樂しみにお待ち申して居ります、左ようなら

(評)文章も草餅と共に味よくかかれて居ます

師の君

大分縣西國東郡三浦村　榎本うめよ

お優しい升田先生と母校にお別れしてより十年後の今日、我處女會の會長として私共の慈父の如くお慕ひ申して居る校長先生が、他校へ御轉任遊すとの話を耳にした時、もう私はこの處女會の前途は鋏をとられし蟹のやうになるであらうと考へまして大へん心細ふございました。然し夫れは單に噂ばかりであつて、事實ではなかつたのです、私は嬉しくて〳〵思はず嬉し涙がこぼれました。

それが又私共の母校の先生として引續きおいで下さるとの事、私はまるで夢の樣に嬉しくて、どうか夢ならばいつ迄もさめずにあれかしと祈るのです

(評)師弟の情の深みがよく現れてそして處女會の活動振りが思ひやられます

和歌

新しき机を据えて新しきテーブル掛をかけて眺めつ　島根縣仁多郡　青木武子

誠ある人になれよと誠ある人の教そまことなるらん　滋賀縣蒲生郡　川元きぬ子

俳句

鏡見てしかめつ笑みつ子供哉　佐賀　中村すゑ子

螢出て小川なつかし夏の宵　群馬縣　女屋はる子

針はこぶ手に夕日さす小春かな　靜同縣　石川しやう子

夕晴や杅の金魚のゆら〳〵と　青木千代子

新しき竹の柄杓や若清水　高知縣　小松みゆき

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

第六巻
處女新聞社

獨逸調印

長引いた媾和談判も恥を承知で獨逸が承諾したので無事に終りました。五年かゝて六百萬人の人の命をなくした大戦争も是でやつと始末がついたわけなのです。日本の名譽は輝き渡りました。是から國民は一層の覺悟を以て働かねばなりません。

安全處女

東京市の安全週間のことは皆様御存知でせう。一週間の間市中の人が申し合せて災害のないように戒め合つたのです。然し是は一週間だけではいけません、一月も二月も一年も十年もこの心掛でなくてはなりません。處女會は處女時代の安全期間なのです。

郡聯合處女團

處女會は非常な勢で各地に出來て來ましたが、近く宮城縣の加美郡玉造郡では郡全體の處女團を作つたさうです。富山縣の射水郡にも郡聯合婦女會があります。是からは婦人の力です、よい妻、よい母がなくてどうしてよい家庭、よい子供が育てられませうか。

御紹介

○岐阜縣武儀郡の阪東村處女會は立派な處女會ですが幹事の柴田様から會報を送つていたゞきました。實によく出來てゐました、一同拜見いたしました。

○福島縣伊達郡上保原村上保原處女會は大正六年に出來ましたが處女のために心得や、名前や、會則などをかいた「上保原處女會要覽」を發行してゐます。小型のうすい本ですがなかなかよく出來てゐます。

笑話

高知縣香美郡　森岡鳩枝

去年一年級を受持つて教へて居られた先生が今年の四月に又同じ一年級をお受持になつたすると二年になつた妹が姉さんれ私達は上つたのに先生は落第したのよ。

評　先生は落第する丈けよい先生になりますよ

孝女の結婚

正月號に孝女高須かつ子さんのお話を致しましたが先頃お宅をおたづね致し、母上に伺ひますと立派なお婿さんをお貰ひなつて一家仲よく暮らしておいでですこんな嬉しいことはありません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

春から夏へ
少女から處女へ

婦人記者

○今が大事な時

春から夏に、夏から秋へと四季の移り變りの時は、身體に影響を及ぼす時であつて、持病のある人はよく再發いたします、恐ろしい傳染病の、はやり始めるのも此の時からです。稻で申すと孕み穗時であります、此の時に攝生を守り養生して置きますと眞夏になつても健康で病氣にもなりにくいとの事です。特に今の霖雨の時は、植物にとつては、生長を助成する大切な場合ですが、我々人體にとつては、一番の厄時であります、御注意遊ばせ

○女子では處女時代

氣候の變り時でさへ相應の注意を要しますが我々人間の變り時はいつ頃でありませう。それは申す迄もなく、子供より大人になる十二三歳から二十歳頃迄の男子では青年時代女子では處女時代ではありますまいか此の時代はやつと自己に對する考がぼんやりと目醒めかけた斗り、まだ一生の基礎も定まらねば、一貫した考も出來ませぬ、隨て誘惑に罹り易くて、一篇の小説本にも思想を左右せらるゝ時、物に感じ易く激し易い時代でありませう、お百姓の言葉でいふと孕み稻の時で肥料に耕作に、風に雨に、注意を要すると同じく精神の修養を専一となさねばならぬ時だと思ひます。心斗りでなく髪衣服の恰好から座話進退の動作に至る迄上品で重みのある様に心がけ言葉遣ひから交際の上に至る迄細心の注意を拂ふと同時に家事の餘暇を利用して讀書もし先輩のお話もきゝ講話會や處女會やの時は努めて出席なさいよしやつまらぬ會合だと思ふてもそこに集つて居る人達を見て、あまり御饒舌がすぎて輕薄に見える人や、又むつゝりすぎたり又は氣取つて居るかの様に見えたり一々注意すれば皆師とする値があ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ります。これらは何でもない事ながら堅實な品格を養ふて行く上には肥料であり又耕作の一つとなると思ひます或る場合には傾きかけの枝に副木をあて、引直す事もあらうし工夫をすればいくらもあります、 處女會員の人達として人生の花を美しく咲かせ立派な實を結ぶ樣にし一夜の嵐に花を散らし、心なき雨に心を傷めぬ樣、銘々に自分を極大切に養成する事を第一に遊ばす樣祈ります

處女常識

手紙のかき方

◎私の友人が大病に罹つて入院してゐましたが、そこへ二年前に卒業した生徒から次ぎの樣な端書が參りました。

拜啓寒氣未だに烈しく候へ共御全家御一同樣愈々御清榮の段賀し奉り候 扨承り候處にては先生には大病にて長らく御入院の由實に驚き入り申候 小生御見舞に參上の處要用有之御無音仕り候　敬具

山本先生樣

入野文太郎再拜

表面には住所月日の次ぎに

此の文を御讀みになつてどんなお考が浮びますか學校で習つた語句を前文に使つてそれで安心してゐることが見えませう、御全家と書けば御一同は餘計な文字又一同御清榮なら病人は一人も無い筈舊師の病氣殊に大患で入院迄してゐるのに端書で見舞のは失禮であります。又何某先生とすればそれで充分な敬語ですのに樣を加へたのは却て禮に缺けて居ます而し此は手紙に就ての心得の足らないのから起る失敗です。

◎手紙は人と話して居る積りで書けばよいとは云ふもの、對話の時ならば云ひ過ぎたり不都合になりはすまいかと氣付いた時は直ぐ其場で謝りもし辯解も出來て

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

先方の誤解をとく事が出來ますが手紙になるとそふいふ譯に行かないのですから用語や書式に就ては一通り禮を失はぬ迄の心得は必要です、常に注意して居れば實際應用の五六通も書けば記憶する事はいと易い事だと思ひます、用語などは對者と自分との關係によつて多少復雜な注意を要しますが書式は普通に大概は定まつてゐるものです。

一手紙の認め方　手紙を認めるに用ゐる狀紙は卷紙といつて半切紙が普通に用ゐられてゐます、正式は無地のであつて目上の人や慶事弔事などには之れにかぎります、繪模樣やすかし杯ある華美なのは略式です。近頃便箋といつて半罫の洋紙がありますがあれも實務上の所謂便箋で繪卷紙と同じく略式ですから正式の場合には使用してはなりません。

二卷紙を逆にせぬこと　卷紙の上下は繼目で分ります、卷紙を展べて見て初の紙が次の紙の上に重なる樣繼目があるのが順で其反對になるのが逆です、逆の卷紙は凶事の時に使ふのですから其他の場合には決して書いてはなりません、之は一寸した事ですけれど人の感じを惡くする事ですから覺えて居てほしい事です。

三狀紙の卷き方　手紙の書き方は終りの方から文字を中に卷き込む樣にするのが普通で文字を外側にして卷くのは凶事に關する時です、そして卷き幅も封筒の幅より少し狹くして入れると封筒にぴたりと添ふてよい恰好になります。

四狀紙の書式　これは手紙の體裁品位を主として先方によい感じを與へねばならぬ所から普通に行はれてゐますのは

兼て御話申上ました處女の友御目にかけます吉田さんも大山さんもご註文なさる樣ですから御覽のやうならば御一所にいたしませう
左樣なら

大正八年二月一日

山田　みつ子

新井よし子樣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女文藝募集

第一種

作文　題随意（三百字以内）

和歌（題随意一人三首）

俳句（題随意一人三句）

考へ物

習字（半紙一枚六字）

第二種

處女會の寫眞

田園生活の感想

有利なる副業内職

地方篤志婦人の事蹟

田舍より見たる都會

第三種

處女倶樂部（はがき一人一通）

衛生問答（一人一問）

處世問答（一人一問）

處女會中央部事業

一、地方處女會ノ發達ヲ助ケ未設ノ地方ニ其設置ヲ奬ムルコト

二、副業ヲ奬勵スルコト

三、中央ニ於テ處女會指導者ノ爲メニ講習會及講演會ヲ開クコト

四、地方處女會ノ爲メニ育兒、衛生、禮法、看護、割烹等ノ巡廻講習會ヲ開クコト

五、地方處女會ノ依頼ニ應シテ講師ヲ派遣スルコト

六、地方婦人ニ適スル圖書ヲ發行シ又ハ圖書雜誌ノ選擇紹介ヲナスコト

七、職業紹介部ヲ設ケ上京スル地方婦人ニ職業ヲ紹介スルコト

八、相談部ヲ設ケ人事其他ニ關スル地方婦人ノ質問ニ應答スルコト

九、旅行見學等ノ目的ヲ以テ上京スル地方婦人及處女團體ニ對シ宿泊案内其他ノ便宜ヲ圖ルコト

一〇、婦人勞働問題、工女問題及ヒ職業問題等ニ關スル研究調査ヲナスコト

一一、中央及地方ニ於ケル慈惠救濟團體ト連絡ヲ保チ主トシテ不幸ナル婦人ノ救濟ヲナスコト

一二、不幸ナル境遇ニアリテ誘惑セラレントスル地方婦女ヲ未然ニ救濟スルコト

一三、成績優良ナル處女會ノ選彰ヲ行フコト

一四、孝女節婦其他ノ善行者ヲ表彰スルコト

一五、以上ノ外地方婦人ニ關スル各種ノ調査及研究ヲナスコト

前號考へ物の答

第五號考へものゝ答は左の通りです。蜂は西からです二四が八ですもの例により正解者多数の中につき抽籤の結果左の方々を受賞者とします。

大上光子（三重縣一志郡八幡村）△土屋さ代（愛媛縣伊豫郡南山崎村）△奥村梅子（福島縣伊達郡上保原村）△田原靜（滋賀縣蒲生郡市邊村）△目黑濤子（福島縣大沼郡相村）△藤松さく（長野東筑摩郡五常村）成瀨あき子（愛知縣智多郡檜須賀町）△加藤きく（千葉縣印旛郡八生村）△大木いち（千葉印旛郡八生村）△桑原りん（新潟縣刈羽郡小條村）△櫻山さき（長野縣東筑摩郡五常村）△水谷熊代（廣島縣御調郡原田村）△三浦金子（廣島縣世羅郡三川村）△岡本直（島根縣美濃郡北仙道村）吉田勝子（島根縣那賀郡三保村）

新考物題

（E＋E＋E）×３＝日本の國の名

締切七月二十五日

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○編輯局より

○田植最中に原稿をかきましたが雑誌の出來る頃にはもう濟んでしまひませう。麥の刈入に、二番茶に、田植にほんとうにお忙しかつたでせう。自然との戰爭です、競爭です、然し考へように自然とのよると共同事業です。

○農あがり節句といつて、田植がすんだ頃鎮守樣に集つて奉告を致すお節句があります。（私の村には）秋のお祭ほどにぎやかでありませんが、なか／＼陽氣なものです。處女會をお開きなさい。そして愉快に有意義に日をお送りなさい。七月七日の七夕も五節句の一つ、この日に工場では工女の慰安會をして欲しいと思ひます、青年會と合同の習字裁縫の展覽會なんぞも面白いと思ひます。

○お米は高くお竈のお金は入る、お茶も高いし、田舍は近來にない景氣ださうです、農村疲弊はどこかへいつてこんどは都會の救濟です、ヂッとして働いてゐた農民がとう／＼勝ちました、土の勝利です。

○然し勝つて兜の緒をしめよ、で油斷はなりませぬ。ぜいたくにならぬよう、惡いならはしをつけぬようにしなければなりませぬ。農夫が都會のまねをするのは、農民の滅亡です、今に都民が農民のまねをするようになります。その時お百姓は鼻が高い。皆樣は立派な貴婦人です。

○雑誌が印刷所の都合で後れてすみません。七夕の發行と致しました。お節句によんで下さい。それから大分お友達も出來ましたが、もつと／＼ふやして下さい。大勢ふやして下さい。皆樣が一人づゝお誘ひ下さると大變處女の友の味方が出來ます。工女たちにもすゝめて下さい。皆樣の姉妹ですもの

○尾の道の柴原浦子さまが上京されました。間崎さま度々御便りありがとう一度貴村に參りたう御座います。山の奥の奥の處女や青年に會つてしみ／＼とお話し致し皆樣のお家に一所に泊めて下さい。

處女の友定價表

毎月一回一日發行

定價	一部	三ヶ月分	半年分	一年分
定價	拾參錢	參拾九錢	七拾六錢	壹圓五拾錢
郵税	壹錢	不要	不要	不要
合計	拾四錢	參拾九錢	七拾六錢	壹圓五拾錢

廣告料	一頁	半頁
特別面	貳拾五圓	
普通面	拾五圓	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵券代用は一割増のこと◎外國行は郵税實費を申受く

大正八年六月二十八日印刷納本
大正八年七月一日發行

東京市牛込區津久戸町二十四番地
發行人兼印刷人　福島四郎
編輯人　天野藤男
東京市京橋區弓町十三番地
印刷所　千代田印刷株式會社

發行所　東京市牛込區津久戸町二十四番地
處女會中央部
電話番町一三〇六番
振替東京六一九〇番

大賣捌　東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他全國の主なる雑誌店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

創刊以來二十年！

「處女の友」と姉妹關係の週刊新聞

婦女新聞

定價

五週（五部）送料共三十錢△十週（十部）五十八錢△二十週（二十部）一圓十五錢△三十週（三十部）一圓七十錢△五十週（五十部）二圓八十錢（總て送料共）

『處女の友』は處女會々員の修養を目的として發行せらるゝ少女雜誌なり。されば、あまり意味の深遠なるもの、又は社會に對する警醒的文章、或は處女團體の施設に關する評論彙報等は『處女の友』に掲載せられず。而してそれ等を掲載して處女會の指導に任ずる人の參考に資するは婦女新聞なり。婦女新聞は明治三十三年創刊の週刊新聞にして、爾來十九年、毎號皇后陛下（東宮妃の御時代より）の台覽を忝うし、全婦人界の公益機關として一貫の主義の下に努力し、特に地方婦人の向上發展の爲めに盡せり。希はくは全國各町村處女會の幹部の人々が、本紙を必讀せられんことを。處女會中央部の消息を最も精確に報道するは本紙なり。昨年十月以後の婦女新聞には、全國各地の處女會及び婦人團體の事績を連載せり。

東京市牛込區
津久戸町二四

婦女新聞社

電話番町一三〇六番
振替東京二八〇七番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

天野藤男著
平福百穗畫

鎭守の森と盆踊

四六版箱入
装幀優美
定價一圓二十錢
送料八錢

國民性は鎭守の森より湧き出づ本書は神社を中心とする行事の由來より神社と愛郷心神社と青年處女會の連絡に及び寺院の卷に移りて盂蘭盆會の精神より盆踊の情緒を描き全國盆踊歌亦收めて一卷にあり座ながら田園の郊野に月夜の舞踏を見聞するの感あり民力を涵養國民精神を皷吹せんとするの上に絶好の參考書たり。

東京市神田區錦町三丁目五番地
發行所　文原堂
振替東京七一七一番

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正八年六月二十八日印刷納本
一部定價　金拾參錢
發行所　東京府牛込區津久戸町二十四番地　處女會中央部